

2021 年 7・8 月実施
「七尾と会社を元気にできる SDGs」アンケート
事業者アンケート分析結果

(共催) 能登鹿北商工会・七尾商工会議所

1. 設問

問1 代表者年齢・従業員数・資本金額・業種について、当てはまるものに○を付けてください。

代表者の年齢	20 歳代・30 歳代・40 歳代・50 歳代・60 歳代・70 歳代・80 歳代
従業員数	5 人以下・6～20 人・21 人～50 人・51 人～100 人・101 人～300 人・300 人以上
資本金額	千円（法人の場合のみ）
業 種	建設業・製造業・電気ガス水道業・情報通信業・運輸業・卸、小売業・金融保険業・不動産業・専門、技術サービス・宿泊業・飲食サービス業・生活関連サービス業、娯楽業・教育、学習支援業・医療、福祉・農林水産業・鉱業、採石業、砂利採集業・その他のサービス業

問2 七尾の未来と会社の将来が心配になることはありますか？ 最も適当なもの1つに○を付けてください。

七尾の未来	よくある ・ ときどきある ・ あまりない ・ ほとんどない
会社の将来	よくある ・ ときどきある ・ あまりない ・ ほとんどない

問3 七尾と会社を元気にできる「SDGs」を知っていますか？ 最も適当なもの1つに○を付けてください。

- 1 知らない
- 2 言葉は聞いたことがあるが、内容については知らない
- 3 内容について知っているが、現時点では推進する考えはない
- 4 推進・検討している

問4 「SDGs」の具体的な推進内容について、当てはまるものに○を付けてください。【複数回答】

- 1 情報収集や社内勉強会を実施・検討している
- 2 自社の取組みを SDGs のゴールの項目に当てはめて推進・検討している
- 3 自社の経営計画や事業計画に、SDGs の推進を落とし込んでいる・検討している
- 4 他社との差別化を図るため、自社の PR 等に SDGs を活用・検討している
- 5 新事業の立上げや新商品・新サービス開発に SDGs を活用・検討している
- 6 自社の本業を活かして、社会や地域の課題解決に取り組んでいる・検討している
- 7 自社の本業以外の取組みとして、社会貢献に取り組んでいる・検討している
- 8 自社の従業員に対する人材育成に、SDGs を活用・検討している
- 9 その他

問5 「SDGs」に取り組む目的として何を期待しますか？ 当てはまるものに○を付けてください。【複数回答】

- | | | |
|--------------|----------------|------------|
| 1 新規取引の増加 | 2 売上高の増加 | 3 利益の増加 |
| 4 従業員のやる気の上昇 | 5 採用面での効果 | 6 他社との差別化 |
| 7 関係者との連携強化 | 8 新事業立上げ・新商品開発 | 9 経営方針の明確化 |

問6 「SDGs」に取り組む上での課題は何ですか？ 当てはまるものに○を付けてください。【複数回答】

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 社会や地域で理解や意識が高まっていない | 2 社内での理解度が低い |
| 3 取組むことによるメリットが分からない | 4 何から取組んでいいか分からない |
| 5 具体的な目標設定の仕方が分からない | 6 定量的な指標など評価方法が分からない |
| 7 取組むマンパワーが不足している | 8 取組むための資金が不足している |
| 9 行政の関与が希薄である | 10 支援機関等の関与が希薄である |

問 7 会社で取組んでみたいことは何ですか？ 当てはまるものに○を付けてください。【複数回答】

- 1 SDGs の情報収集や社内勉強会を実施したい
- 2 会社の経営や事業に、SDGs の推進を反映させたい
- 3 他社との差別化を図るため、会社の PR 等に SDGs を活用したい
- 4 新事業の立上げや新商品・新サービス開発に SDGs を活用したい
- 5 会社の本業を活かして、社会や地域の課題解決に取り組みたい
- 6 会社の本業以外の取組みとして、社会貢献に取り組みたい
- 7 会社の従業員に対する人材育成に、SDGs を活用したい

問 8 推進の時にあって欲しい支援策はなんですか？ 当てはまるものに○を付けてください。【複数回答】

- 1 市や支援期間によるお墨付きなどの認定制度
- 2 推進している企業の PR・情報発信の支援
- 3 セミナー・シンポジウムの開催（SDGs の理解や先進事例の発信等）
- 4 SDGs を活用したビジネスのノウハウ・プロセス等の習得支援
- 5 ビジネスになり得る地域課題や国際課題等の把握のための支援
- 6 SDGs をテーマとしたビジネスマッチング支援やネットワークの構築支援
- 7 推進に活用できる補助金制度
- 8 推進に活用できる低利融資制度

問 9 「SDGs」を推進する考えはない理由について、当てはまるものに○を付けてください。【複数回答】

<問 3. で（3）「内容について知っているが、現時点では推進する考えはない」と答えた方のみ>

- 1 国や自治体が取り組むことなので、当社には関係ないから
- 2 大企業が取り組むことなので、当社には関係ないから
- 3 本業にくらべ、社会貢献や地域の課題解決の取り組みの優先度が低いから
- 4 取り組みの必要性は理解するが、何から取組んでいいかわからないから
- 5 取り組みの必要性は理解するが、取組む余裕がないから

問 1 0 地域の課題を解決しようとする取組みは、「SDGs」の推進につながることを知っていますか？ 当てはまるものに○を付けてください。

- 1 知っている
- 2 知らない

問 1 1 社会や地域の課題に対する考え方を教えてください。 当てはまるものに○を付けてください。

- 1 本業として、社会や地域の課題解決に力を入れれば、会社の稼ぐ力も高めていける。
- 2 本業以外で、社会や地域の課題解決に取り組むことで、企業の社会的責任を果たせる。
- 3 会社として、社会や地域の課題解決に取り組む必要はない。

問 1 2 会社で社会や地域の課題解決に取り組んでいますか？ 当てはまるものに○を付けてください。

- 1 取り組んでいる。
- 2 取り組んでいない。

問 1 3 取組んでいる社会や地域の課題解決内容について、当てはまるものに○を付けてください。【複数回答】

- 1 事業が環境や生態系に悪影響を与えるものでないか確認している
- 2 従業員の健康への配慮や、立場の弱い労働者の雇用環境の整備や活躍を促進する経営をしている
- 3 地元雇用を推進する取組をしている
- 4 水道・電気・ガスなどの利用量や無駄な仕入れなどの削減・効率化に取り組んでいる
- 5 環境負荷の低減に寄与する商品・サービスの提供、ものづくり等をしている
- 6 二酸化炭素など温室効果ガスの排出実質ゼロを目標に取り組んでいる
- 7 間伐材等を利用した製品等を開発している、または同製品を積極的に購入、使用している
- 8 防災活動や環境活動等の地域コミュニティへの参加等をしている
- 9 災害が発生した場合でも、すぐに事業を復旧し、会社やお店を継続するための備えをしている

問 1 4 社会や地域の課題解決に取り組む理由について、当てはまるものに○を付けてください。【複数回答】

- 1 新たな取引先の獲得や新規受注などのビジネスチャンスに繋がるから
- 2 経営革新や事業の再構築のアイデアとして活用することで、新商品・新サービス開発に役立つから
- 3 企業の責任として大切だから
- 4 企業の価値向上において大切だから
- 5 社外の利害関係者との連携や協力に必要なだから
- 6 何かあった時の備えとして大切だから

2. 集計結果

2.1. 全体集計結果

2.1.1. 総括

SDGs への取り組みに関連して、企業が「地域課題・社会の課題」にどのようにアプローチしているかをアンケートした結果、七尾市内企業の特徴として以下の点が確認できた。

- ・ そもそも SDGs に対する理解度が低く、SDGs への取り組みは「ボランティア活動である」という認識を持った企業が約 40%になっている（問 8 助成金が必要と回答）
- ・ SDGs を企業として取り組むための課題として、これから着手しようとする企業では「何から始めてよいかわからない（問 6 何から取り組んでよいかわからない、社内での理解度が低い、取り組むマンパワーが不足）」との回答が多く、実践している企業では「SDGs に取り組むことの評価が社会から得られない（問 6：社会や地域で理解や意識が高まっていない）」との回答を得た。
- ・ 社会に役立つ企業（人）でありたいと考える企業は 75%を超えており（問 14）、SDGs を取り入れる素地は十分にある。

以下各設問に対する詳細分析を記載する。

問 1：企業属性

経営者年齢は 60 歳以上が約半数、70 歳以上が全体の 1/4 となっており、高齢化が顕著になっている。（日本の経営者の平均年齢は 62.49 歳）

従業員数 300 人以上の大企業は 4%（全国平均 0.3%）となっており、アンケート回答者に偏りがある可能性もあるが、地方において大企業の進出状況が顕在化している。

個人事業主が 60%（全国平均 10%）と極端に多い。新型コロナウイルス感染症の影響で急増しているトレンドがあるが、業種を見ても、個人事業主はほぼ全業種にわたって存在していることから、能登に関しては昭和期の構造をそのまま引き継いでいる可能性が高い。

問 2：将来への不安

地域の未来について・会社の将来についての不安はほぼ同等の傾向がみられ、約 8 割が不安を感じていた。不安の内容についての調査を行っていないが、「不安」材料があるということは世の中の、企業の課題が見えていることと同義であり、その課題解決が地域生活の向上、企業の成長につながることから、約 8 割の事業者については今後の成長が期待される。一方で全く不安を感じていない 20%程度の企業は早急に「経営」を改善する必要がある。

問 3：SDGs 認知度

知っている、知らないの割合がそれぞれ約 50%となった。知らないと回答した 30%の内訳をみると、・高齢の経営者・従業員数 50 名以下・個人事業主という傾向がみられた。SDGs という言葉については日常的に使われるようになっており、メディア等で目にしない、耳にしない日はないほどの状況の中、「知らない」としている企業は外部環境情報の収集能力に問題があると考えられる。一方で、外部環境に影響されることなく経営が成り立っている地元密着型経営ができているという考え方もできる。

問 4 SDGs 推進内容

取り組み内容の上位が「情報収集や社内勉強会を実施・検討している」「自社の本業を活かして、社会や地域の課題解決に取り組んでいる・検討している」の 2 項目、続いて「他社との差別化を図るため、自社の PR 等に SDGs を活用・検討している」が続いた。一方で「自社の従業員に対する人材育成に、SDGs を活用・検討している」と回答した企業は 23%にとどまり、自社事業の PR ツールとしては利用するものの、自社の存在価値そのものの向上につながるツールであるという認識にまでは至っていないという傾向が読み解ける。

問 5 SDGs に取り組む目的

問 4 と同様に、事業の PR に関する項目「他社との差別化」「関係者との連携強化」が上位となっており、実際の事業に直結する「新規取引の増加」「売上高の増加」「利益の増加」への認識が低いことから、SDGs への取り組みが事業伸張につながるという認識には至っておらず、また本来の社会貢献である従業員の質の向上につながる人材育成面の項目「従業員のやる気の上昇」「採用面での効果」に関しても目的として掲げる企業が少なかった。

あくまでも SDGs への取り組みがトレンドに乗ったもの、利益度外視の取り組みという傾向がみられた。

問 6 SDGs 取り組みへの課題

「取組むマンパワーが不足している」「社内での理解度が低い」が上位となっており、社内における組織作りに課題が集中したほか、「社会や地域で理解や意識が高まっていない」とした、SDGs に取り組んだとしても社会から評価が得られないといった課題が抽出された。

問 7 会社で取り組んでみたいこと

SDGs を活用することによって「会社の本業を活かして、社会や地域の課題解決に取り組みたい」とする企業が傑出しており、これまでの問 4 から問 6 に見られた傾向から脱却しており、現在の取り組みでは本来の SDGs 達成に向かわないのではという問題がしっかりと認識されていることが確認できる。本来の SDGs の正しい使い方を企業に浸透させ、その取り組みを支援する枠組み作りが望まれている。

問 8 ほしい支援策

「推進に活用できる補助金制度」に回答が集中した。問 7 では課題が明確になっているが、そこから具体的に何をしたらよいかかわらず、「ボランティア活動」という現状認識の中で必要な支援策を考えた結果だと推察される。問 7 で見だした課題に取り組むためには本来「SDGs をテーマとしたビジネスマッチング支援やネットワークの構築支援」「ビジネスになり得る地域課題や国際課題等の把握のための支援」に回答が集まる必要があるため、根本的な SDGs への取り組みの意義を各企業に浸透させる必要がある。

問 9 SDGs を推進しない理由

「取組みの必要性は理解するが、何から取組んでいいかわからないから」「取組みの必要性は理解するが、取組む余裕がないから」の回答が上位となったが、そもそも理由選択者が全回答の 15%程度のため、SDGs がわからないので取り組む価値があるかないか、そもそも何を言っているのかわからないというのが現状であると推察される。

問 10 地域課題と SDGs の関連性

ちょうど意見が半数に割れた。

問 11 社会・地域の課題に対する考え方

事業を通じて社会問題に解決すること、事業以外での社会貢献、どちらも正解であり、企業のあるべき姿として正しい。しかし、「会社として、社会や地域の課題解決に取り組む必要はない。」と回答した 6%の企業については、実際には事業を通じて社会貢献しているにもかかわらず、その認知が間違っている、ないしはさらに高い目標を持っている可能性がある。社会、地域の「役に立つ事業を行っている」という認識を持つことで企業はより成長しやすくなり、また社員も誇りをもって業務に取り組むことができるようになることから、事業が社会の役に立っているという認識が欠如している企業に対して七尾商工会議所として経営のフォローアップをお勧めする。

問 12 社会や地域の課題解決に取り組んでいるか

取り組んでいると回答した内訳を問 11 の設問で分解すると、7 割が事業を通じた取り組み、3 割が事業外での取り組みを行っていることが分かった。取り組みが必要ないとの回答をしたにもかかわらず地域課題解決を行っていると回答している企業も 1 社あった。

さらに、本業以外で地域課題の解決に取り組んでいる企業を分析すると、資本金 300 万円以下企業が 69%となり、企業として取り組んでいるというよりは経営者ないしは社員個人が社会と密接にかかわっている様相が推察される。これらの企業は地域とのつながりを大切にする文化が既に定着していることから、地域に密着した個々人の活動を企業として、また事業を通じて関与するようにけん引することで地域の課題が解決しやすい社会づくりにつながると考えられる。

問 13 取り組んでいる課題

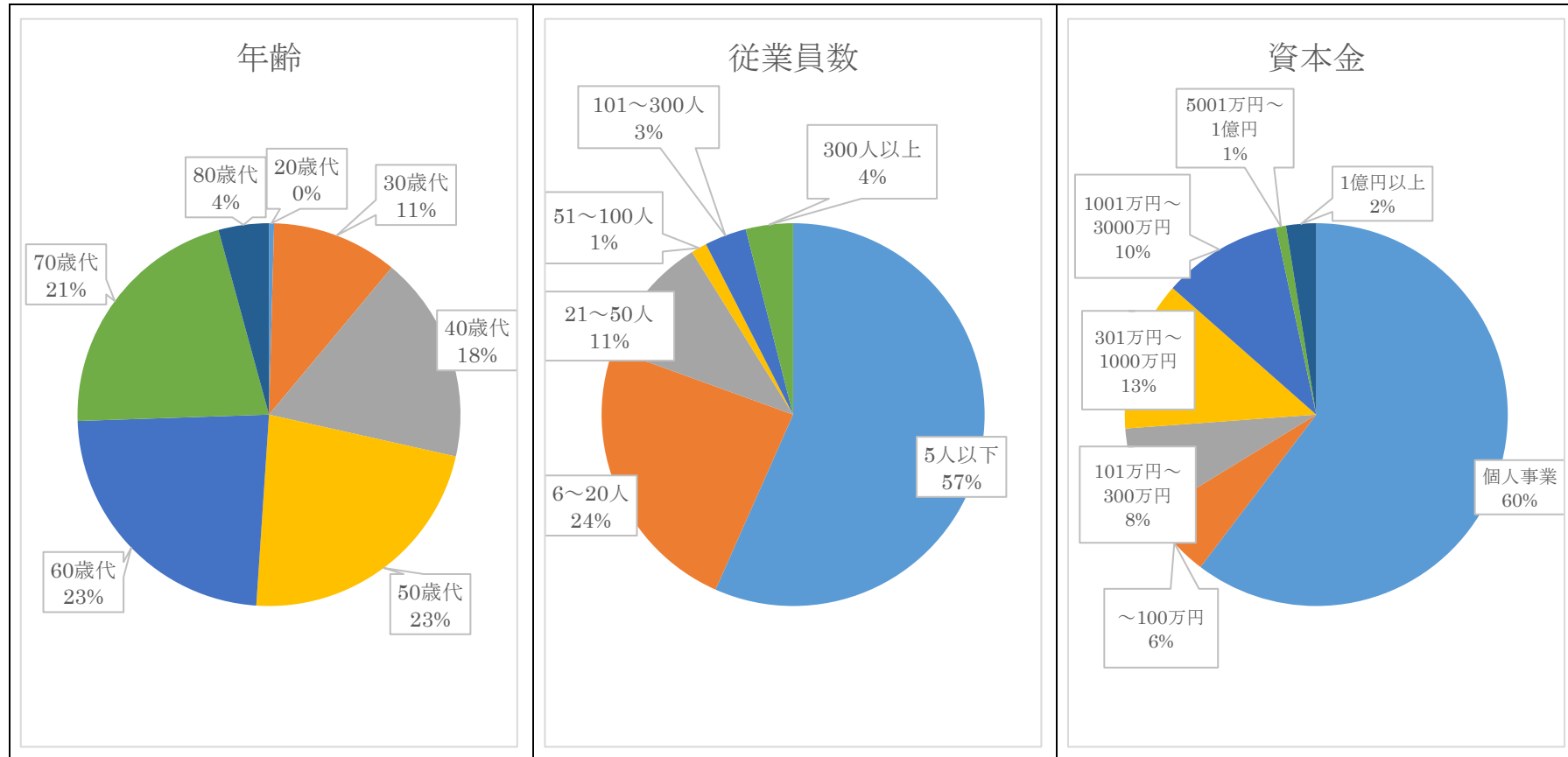
本設問により、地域課題解決に取り組んでいないと回答した企業に対して「何が地域課題解決なのか」を具体的に示すことができたと考える。一方で、解凍項目が 9 個に限定されたことから、他の取り組みを行っている企業からの具体的事例を引き出すことができなかった。本設問に対して記述回答があれば地域課題解決に向けた実践的事例を地域内で集めることができる。実践事例集を作成し、地域内企業に広報することで「これなら自分の会社でもできる」という意識付けを行い、SDGs を地域企業に浸透させる取り組みにつなげていく次のステップを検討したい。

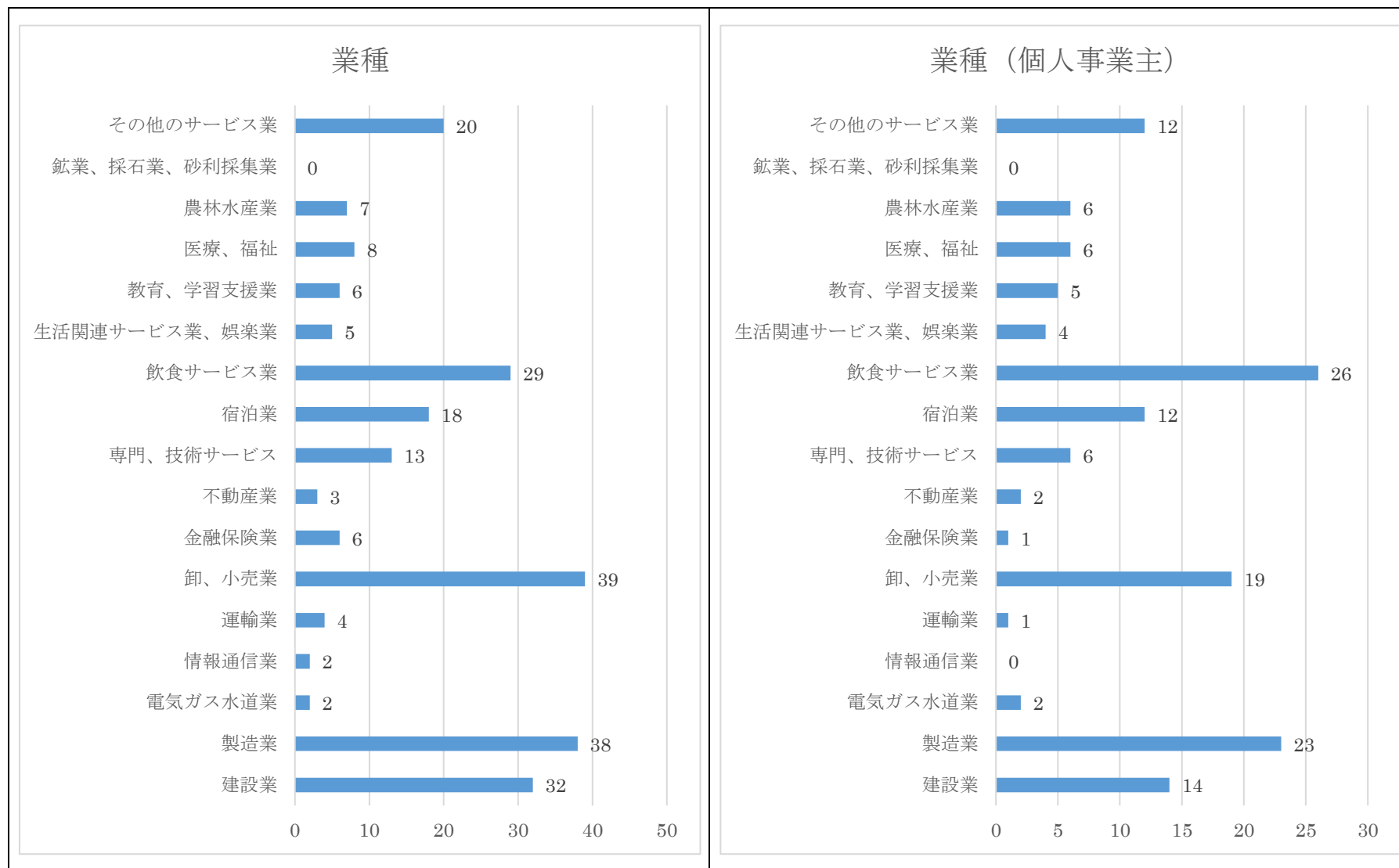
問 1 4 地域課題解決に取り組む理由

取り組む理由として「企業の責任として大切だから」「企業の価値向上において大切だから」が上位となった。この回答項目を詳しく分析する必要があるが、そもそも企業の存在価値は「社会の問題解決」であり、本設問に回答したほとんどの企業がその重要性を正しく認識していると判断される。

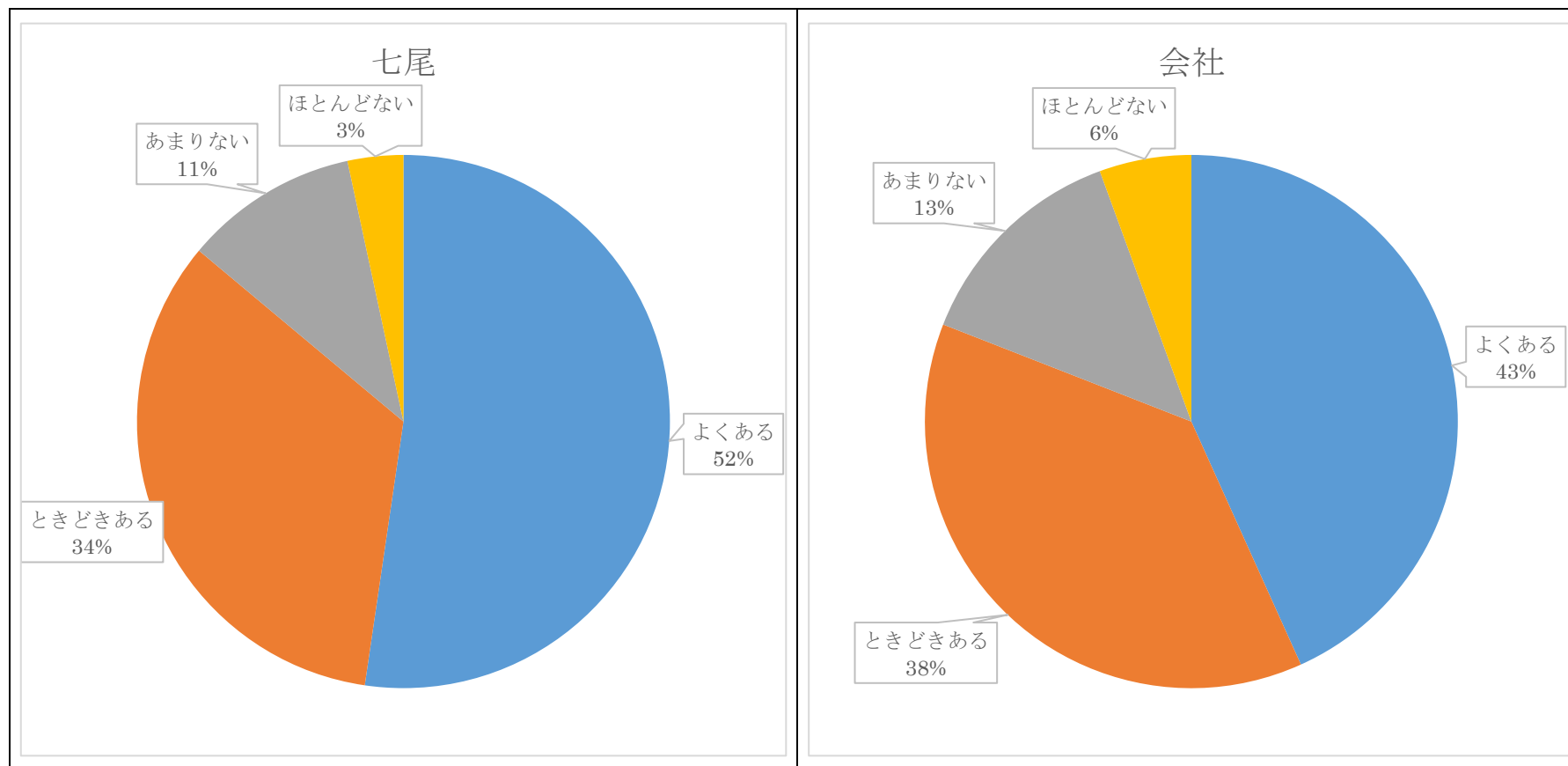
問 11 の回答でフィルタリングした場合でも「企業の責任として大切だから」「企業の価値向上において大切だから」が共通認識として入っており、地域課題解決に向けて「事業を通じて」「事業外で」取り組む姿勢が示された。

2.1.2. 問1 代表者年齢・従業員数・資本金額・業種について。

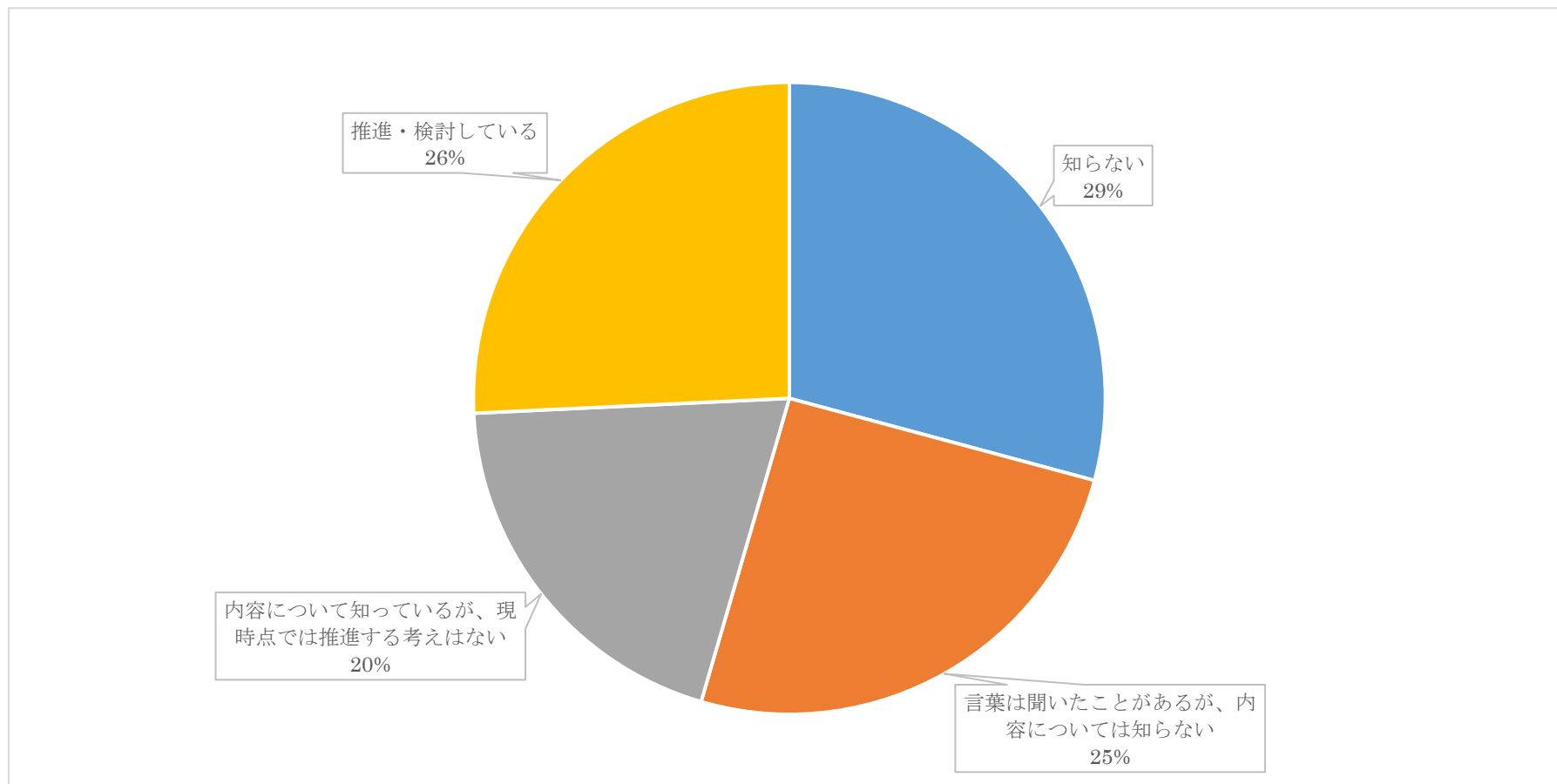




2.1.3. 問2 七尾の未来と会社の将来が心配になることはありますか？

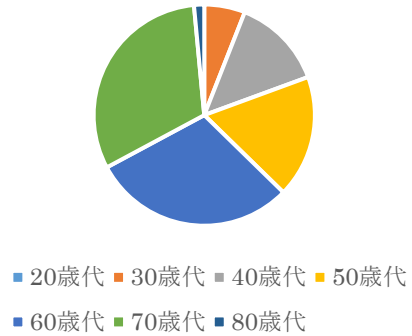


2.1.4. 問3 七尾と会社を元気にできる「SDGs」を知っていますか？

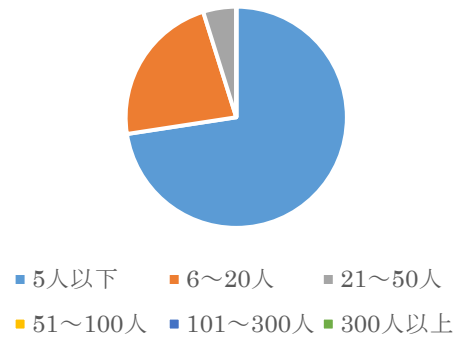


知らないと回答した企業属性

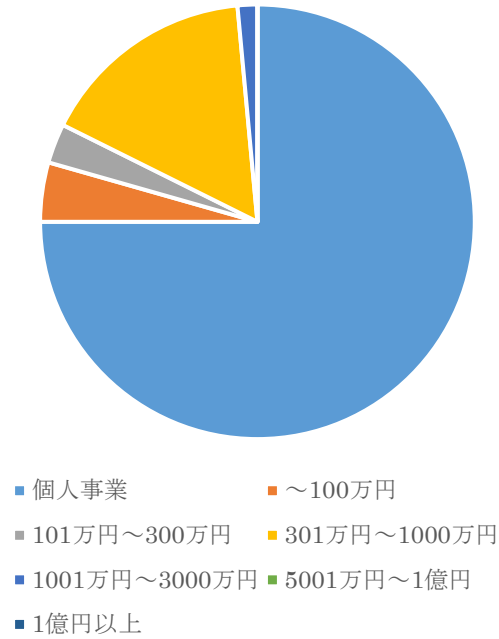
知らない年齢



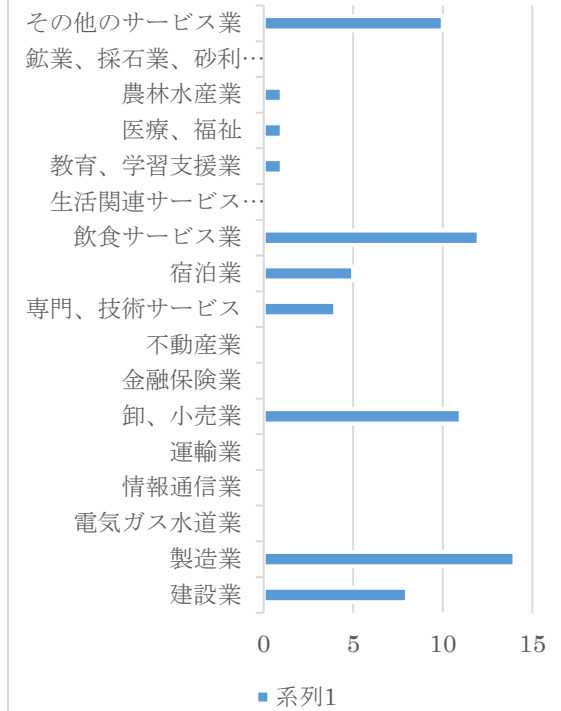
知らない従業員数



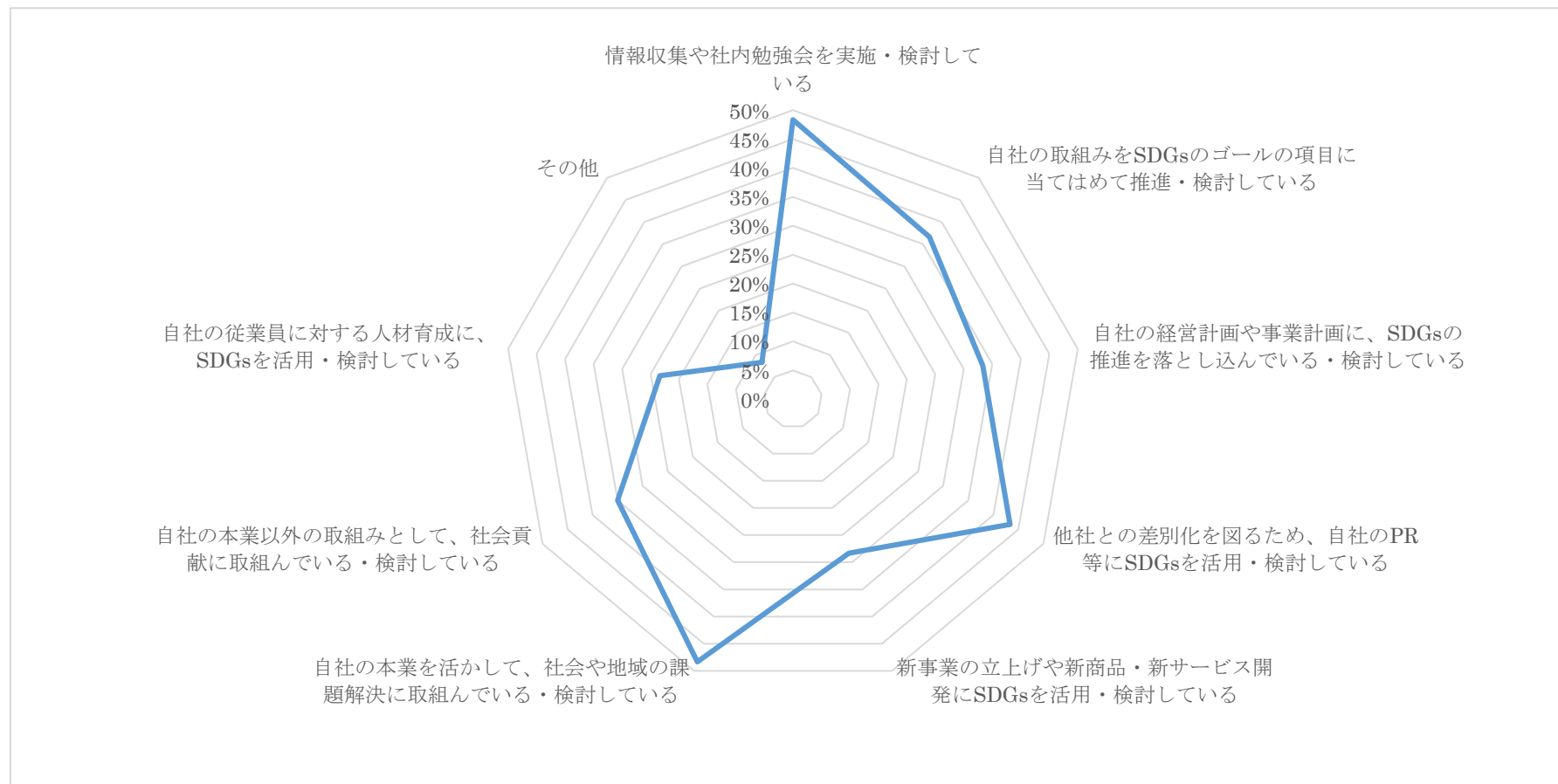
知らない資本金



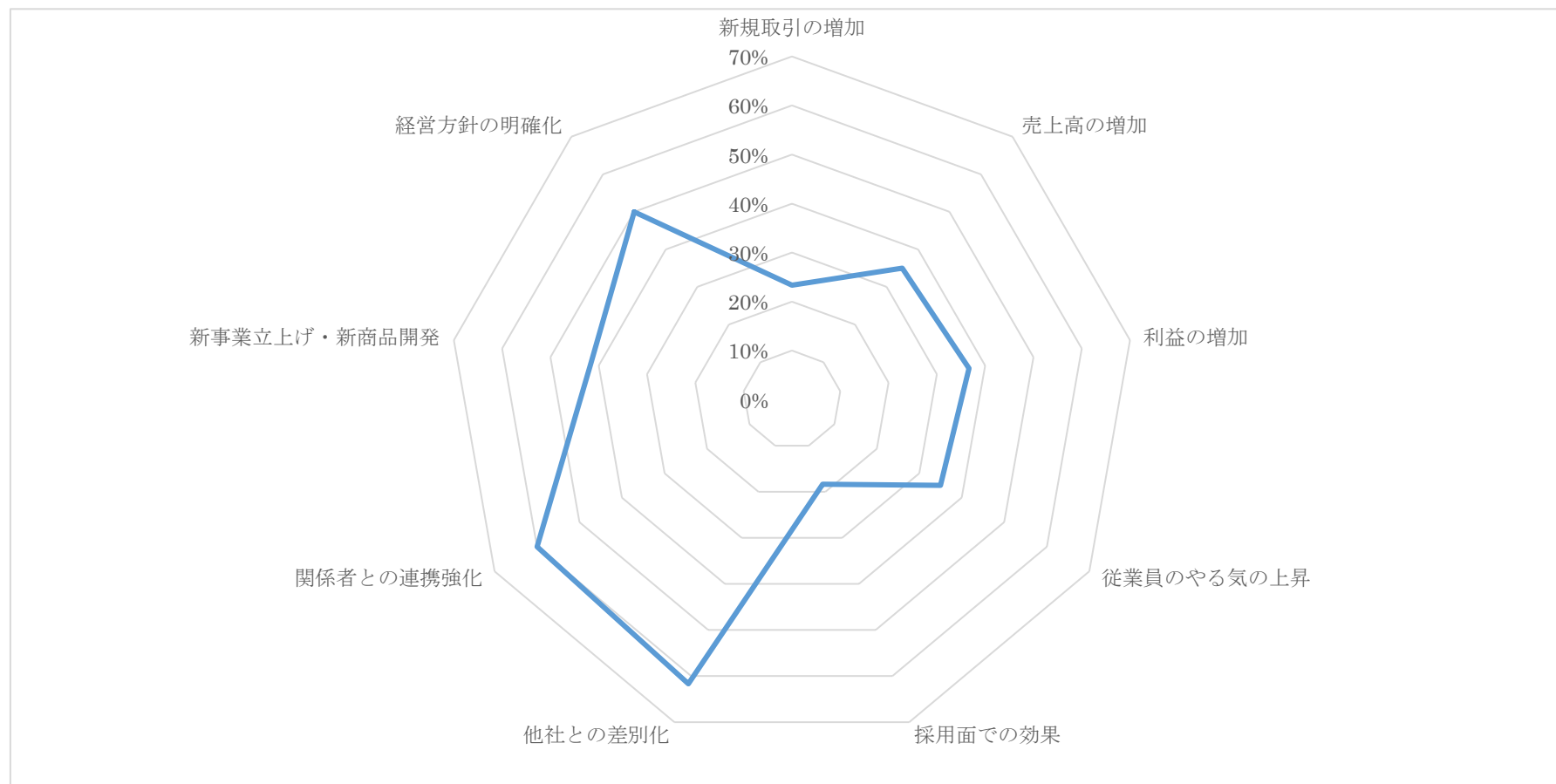
知らない業種



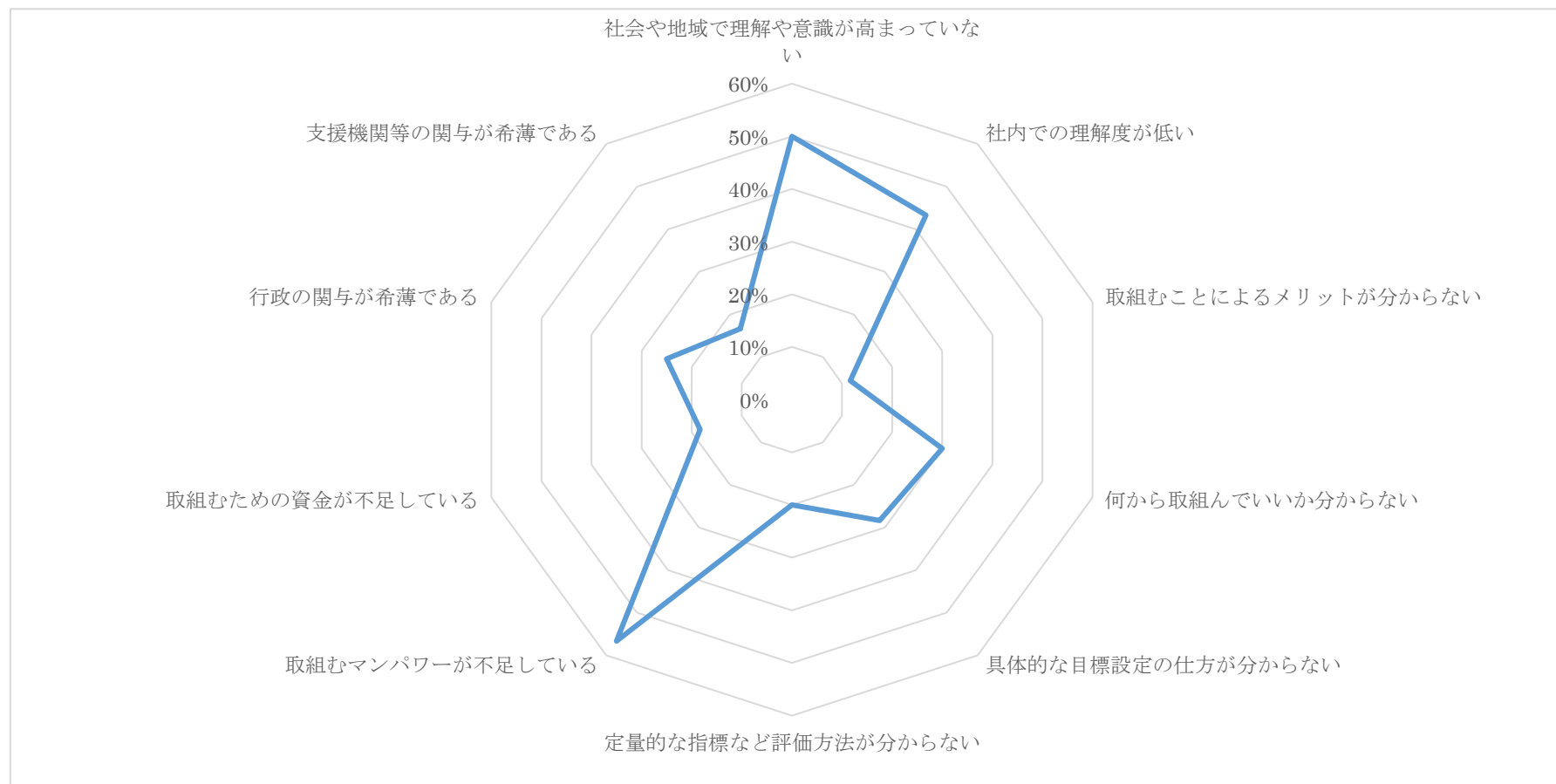
2.1.5. 問4 「SDGs」の具体的な推進内容について、当てはまるものに○を付けてください。【複数回答】



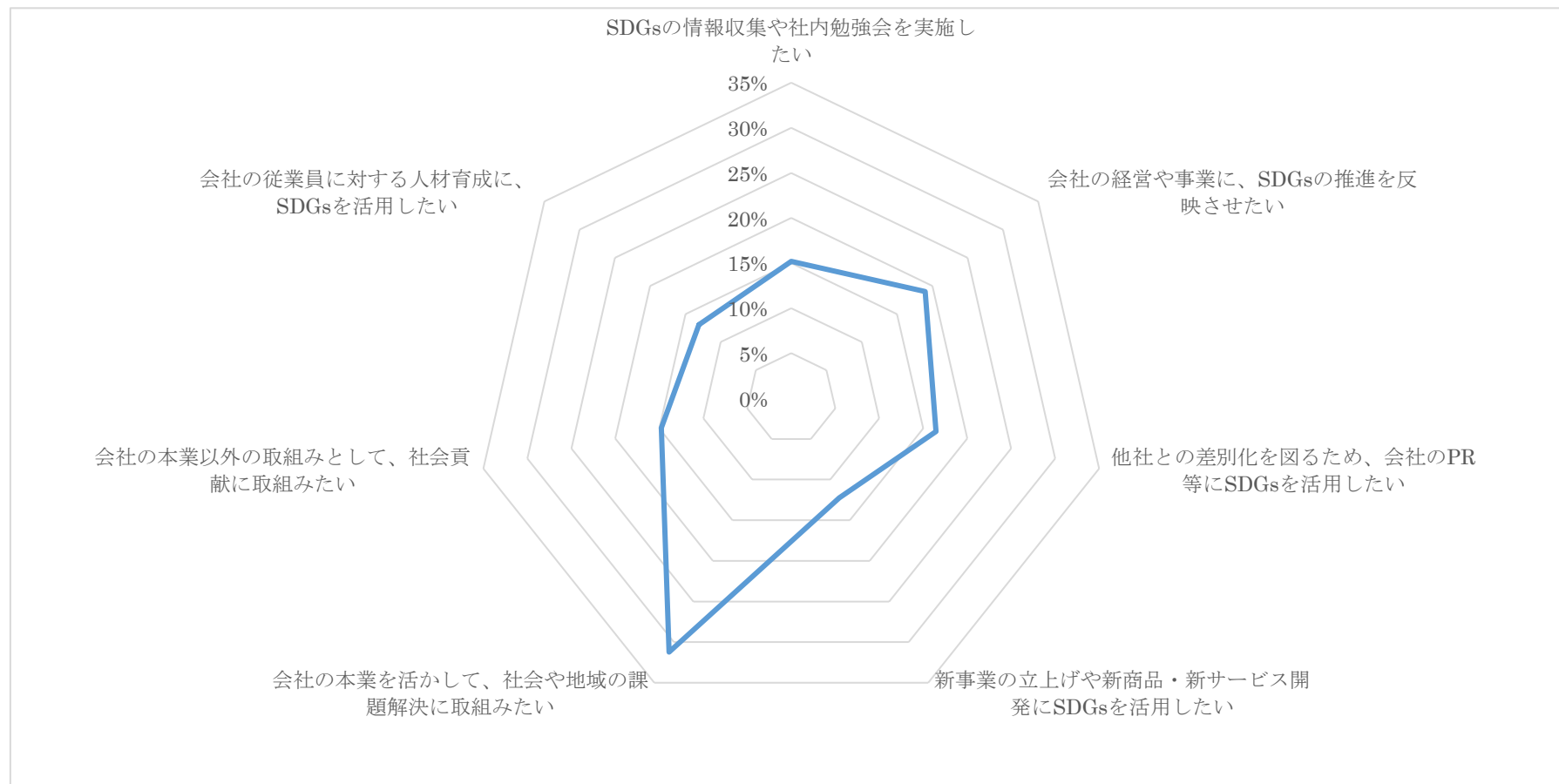
2.1.6. 問5 「SDGs」に取り組む目的として何を期待しますか？ 当てはまるものに○を付けてください。【複数回答】



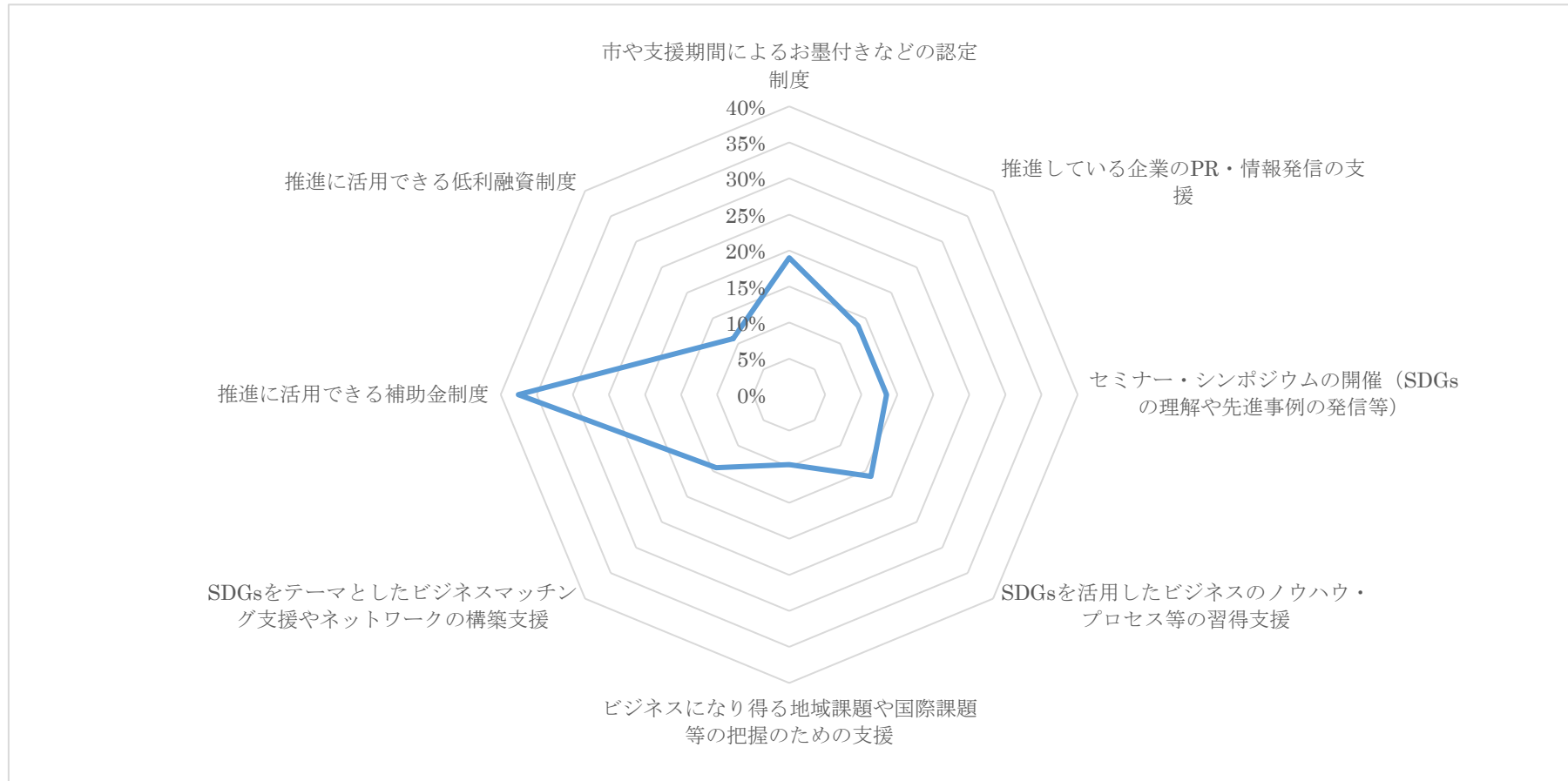
2.1.7. 問6 「SDGs」に取り組む上での課題は何ですか？ 当てはまるものに○を付けてください。【複数回答】



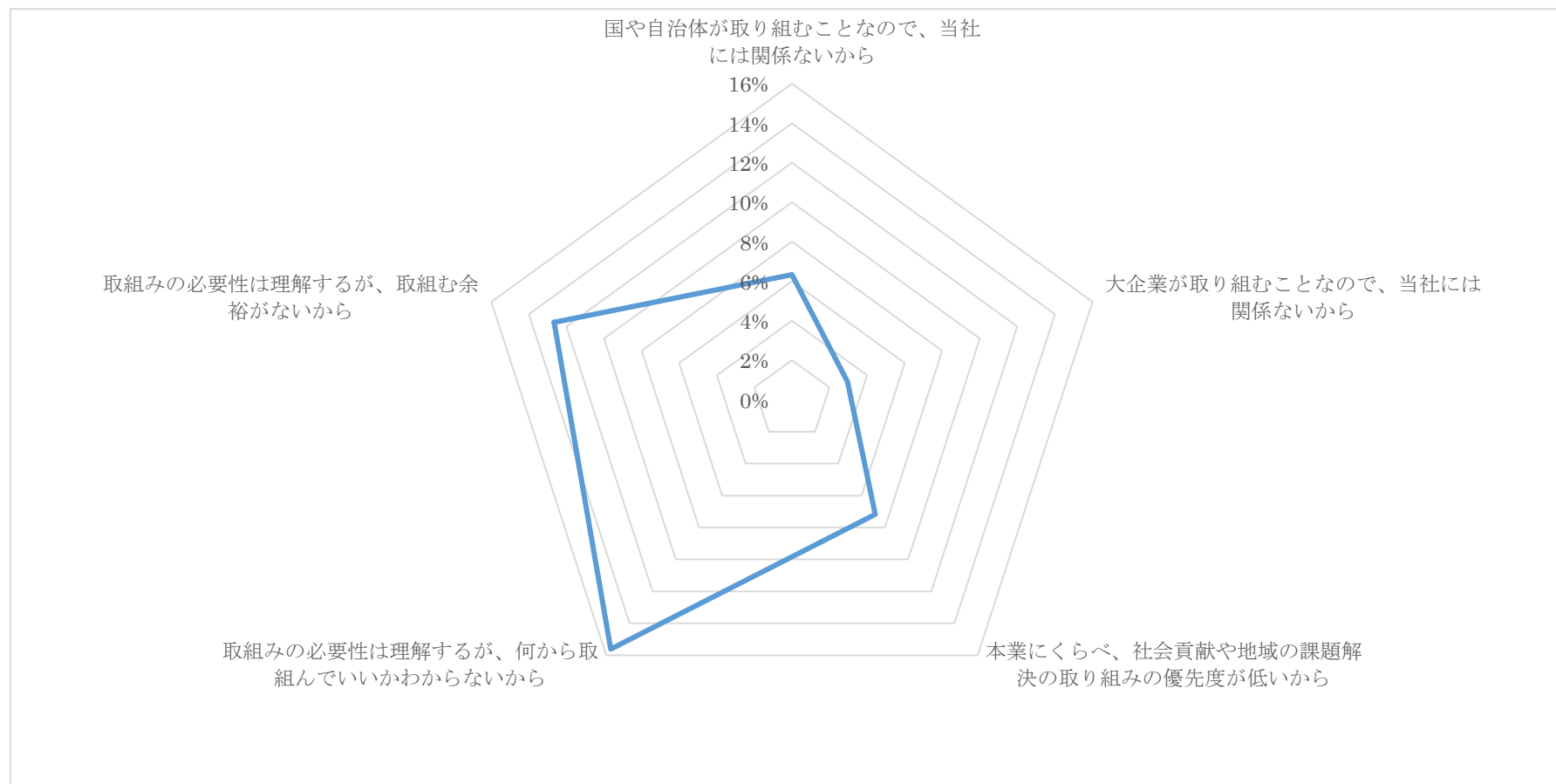
2.1.8. 問7 会社で取組んでみたいことは何ですか？ 当てはまるものに○を付けてください。【複数回答】



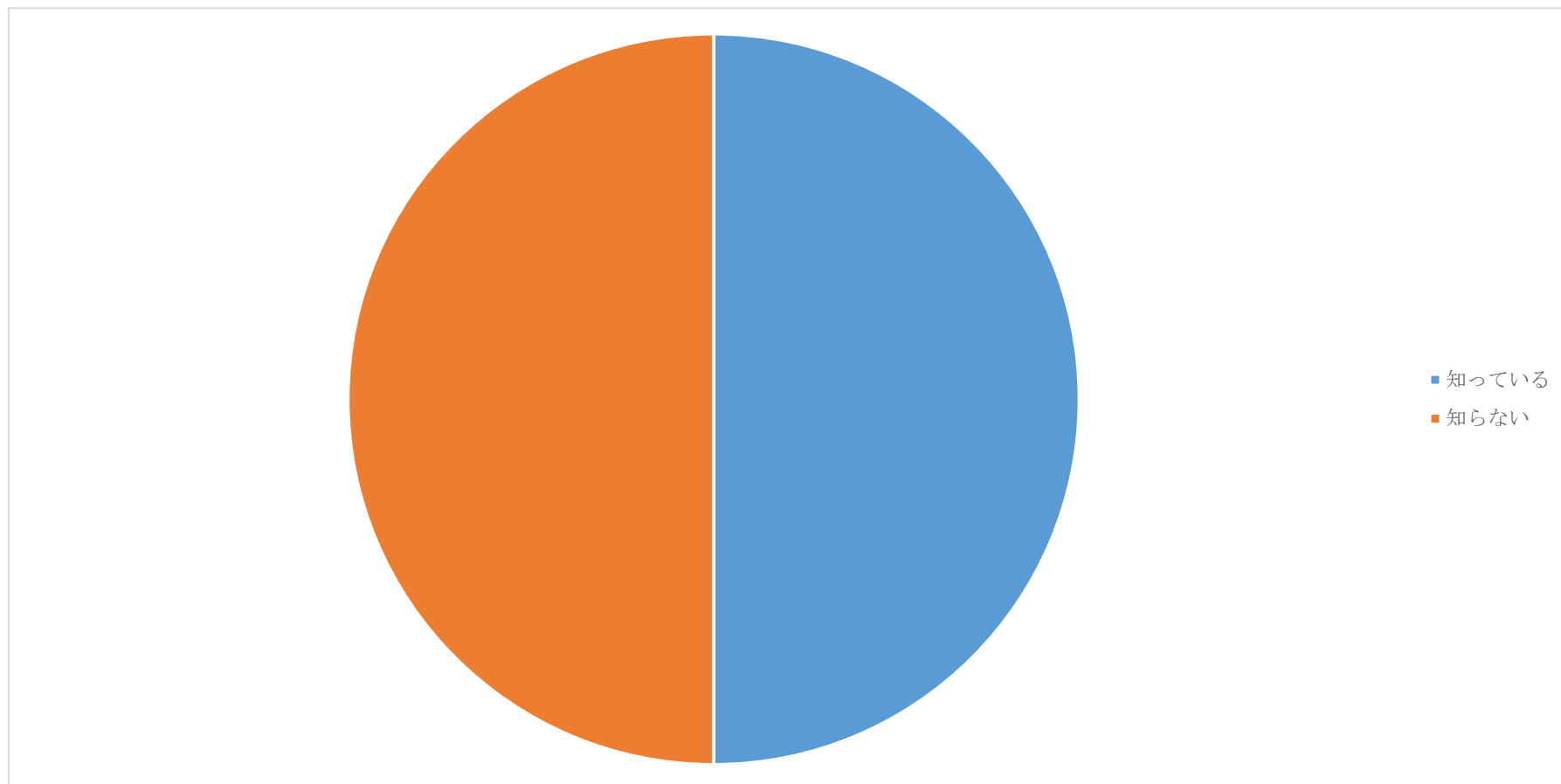
2.1.9. 問8 推進の時にあって欲しい支援策はなんですか？ 当てはまるものに○を付けてください。【複数回答】



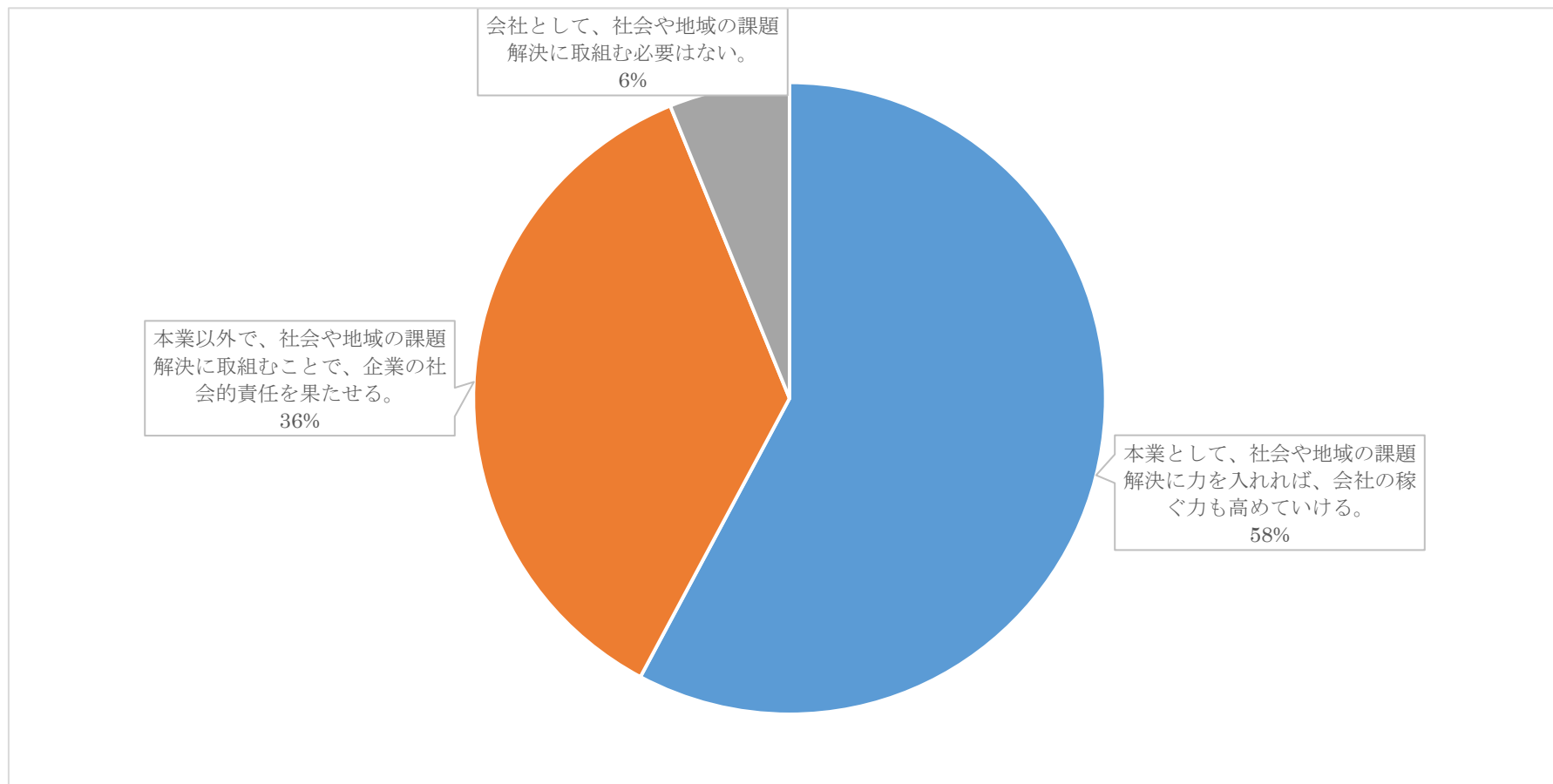
2.1.10. 問9 「SDGs」を推進する考えはない理由について、当てはまるものに○を付けてください。【複数回答】



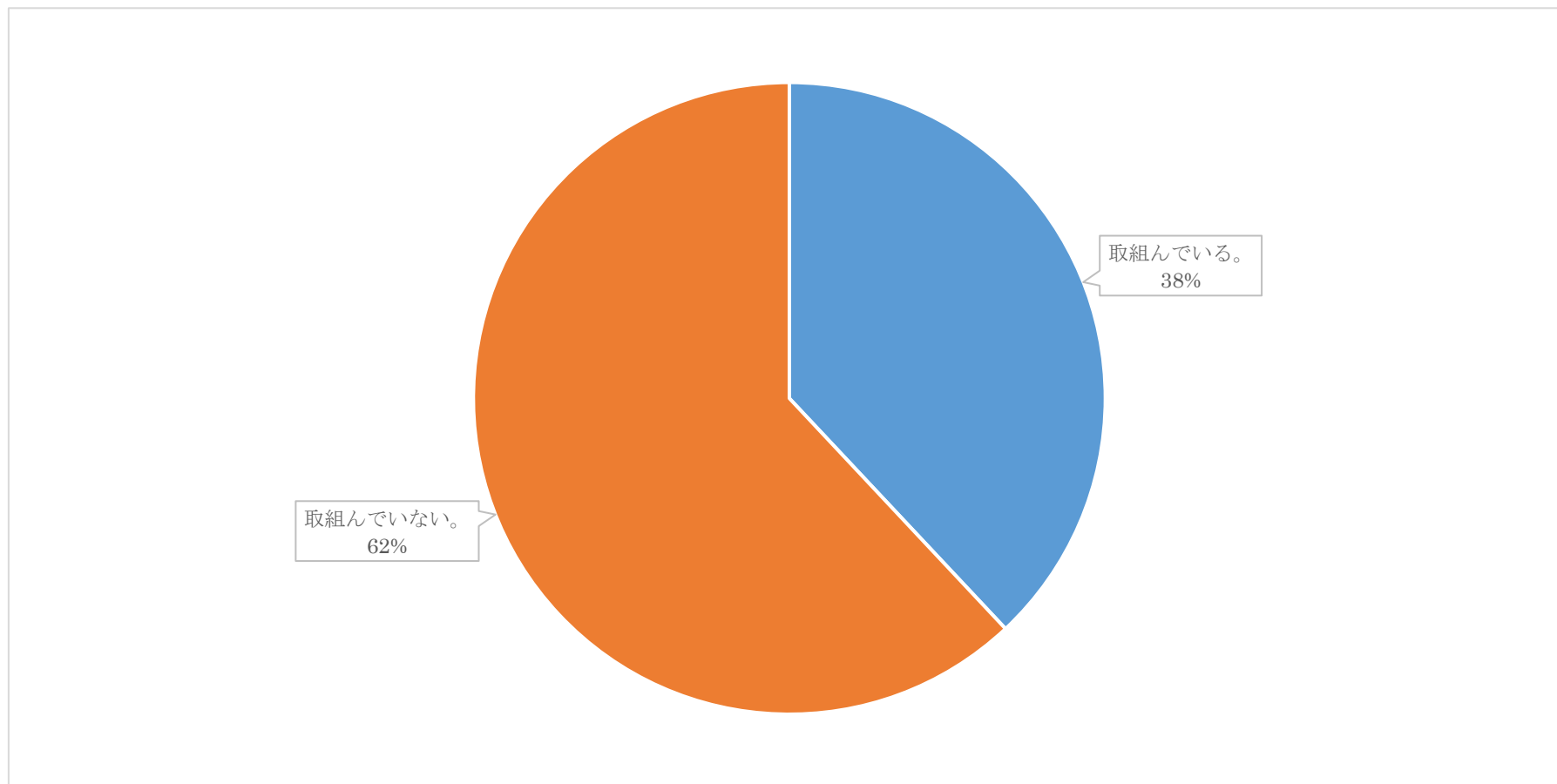
2.1.11. 問 1 0 地域の課題を解決しようとする取組みは、「SDGs」の推進につながることを知っていますか？ 当てはまるものに○を付けてください。

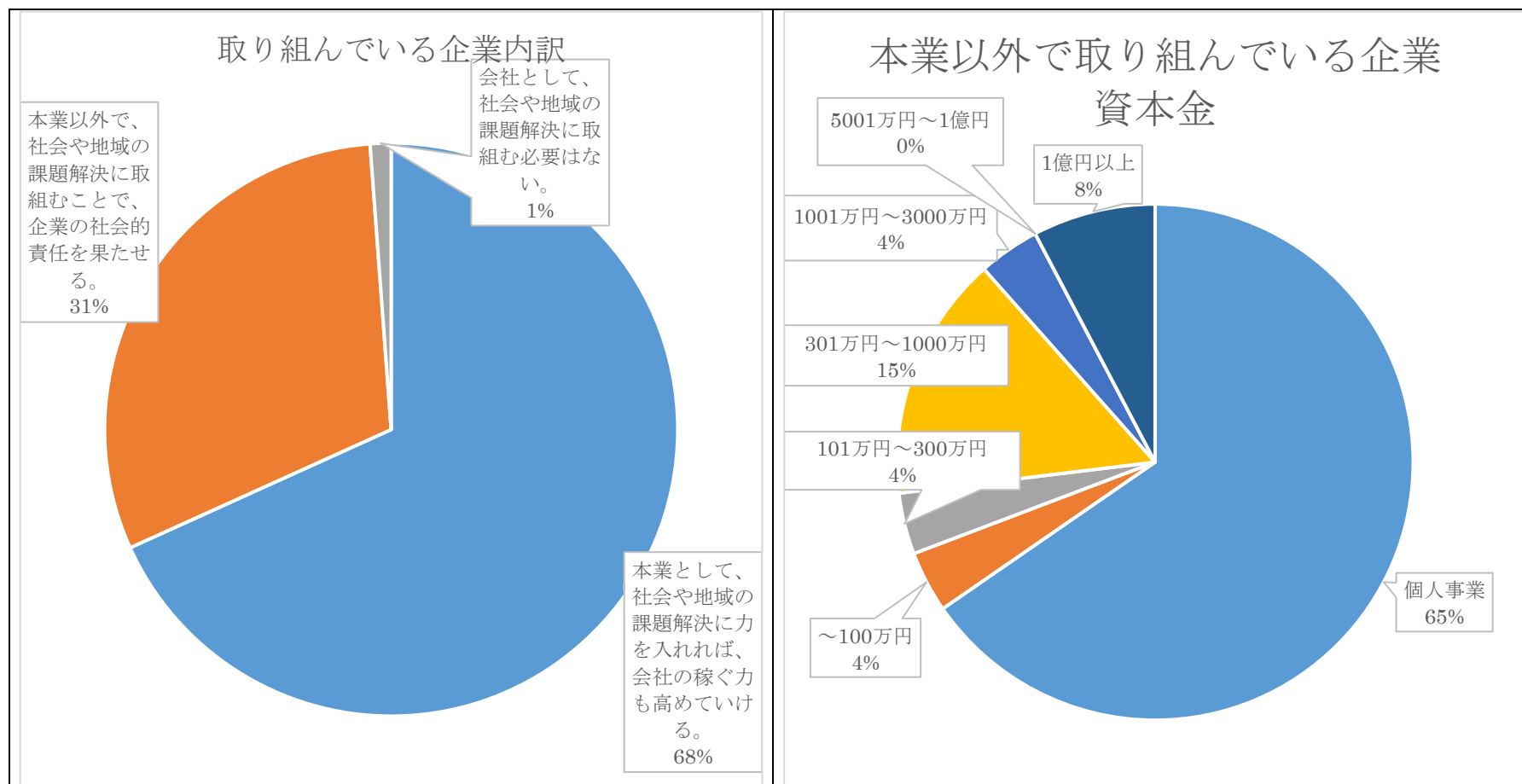


2.1.12. 問 1 1 社会や地域の課題に対する考え方を教えてください。 当てはまるものに○を付けてください。



2.1.13. 問 1 2 会社で社会や地域の課題解決に取り組んでいますか？ 当てはまるものに○を付けてください。

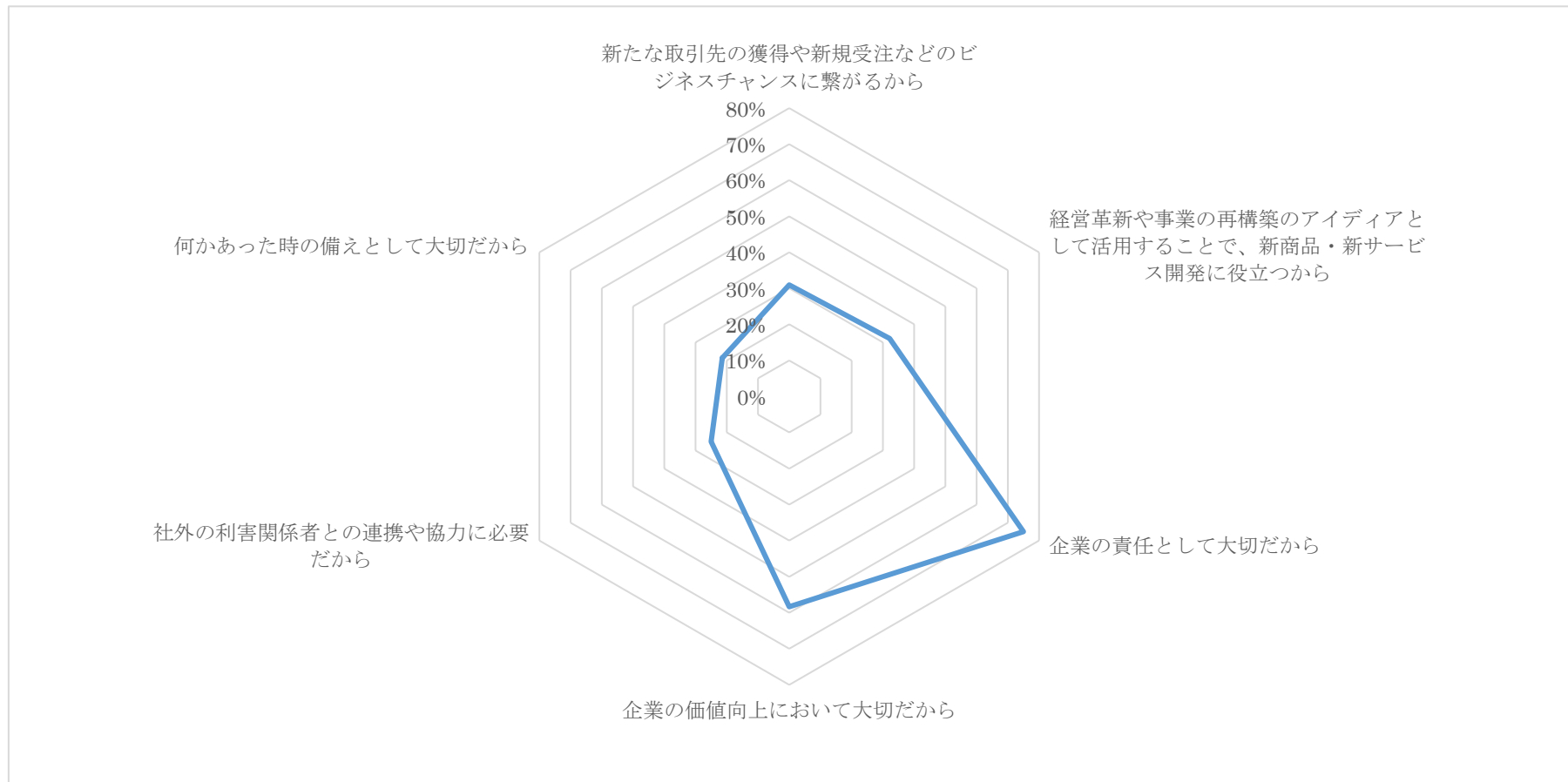




2.1.14. 問 1 3 取組んでいる社会や地域の課題解決内容について、当てはまるものに○を付けてください。【複数回答】



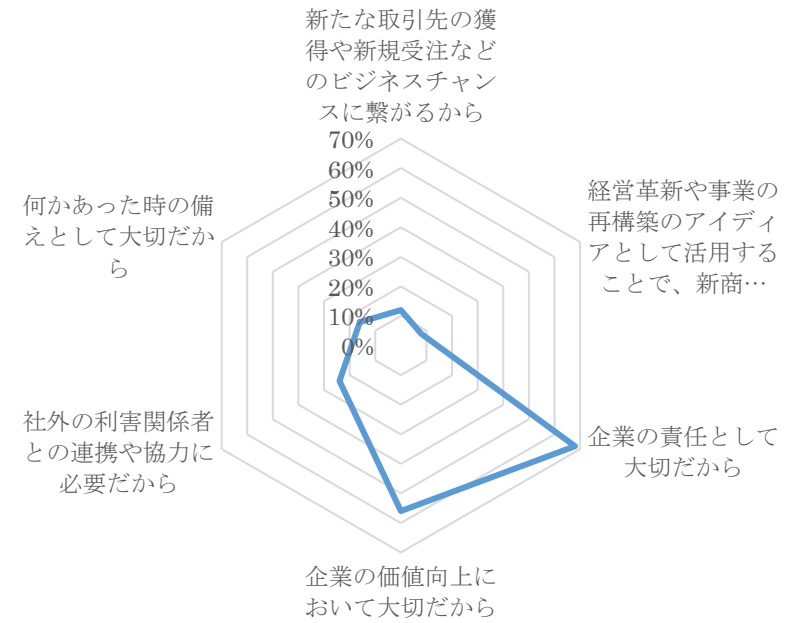
2.1.15. 問 1 4 社会や地域の課題解決に取り組む理由について、当てはまるものに○を付けてください。【複数回答】



本業



本業外



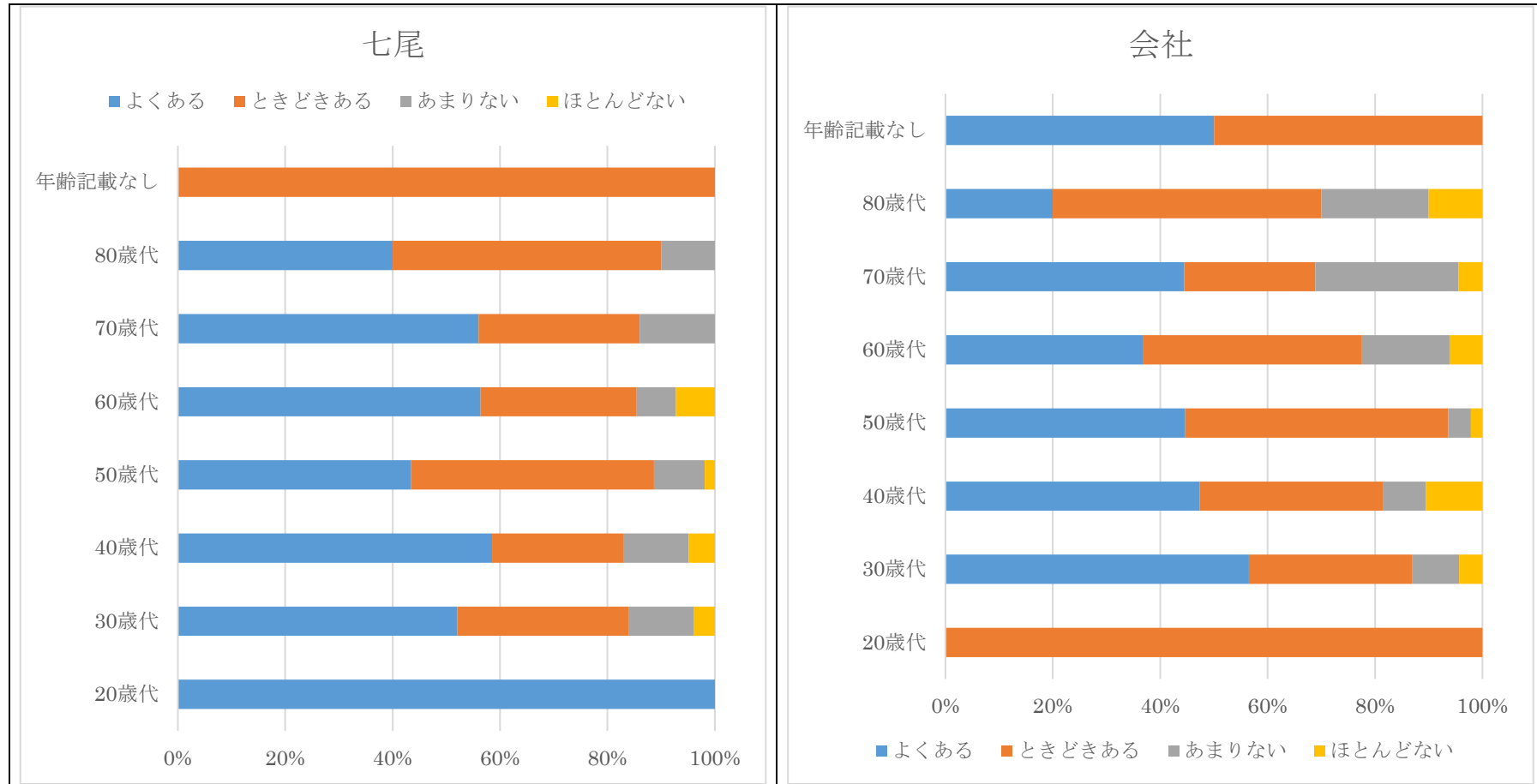
2.2. 年代別分析

2.2.1. 総括

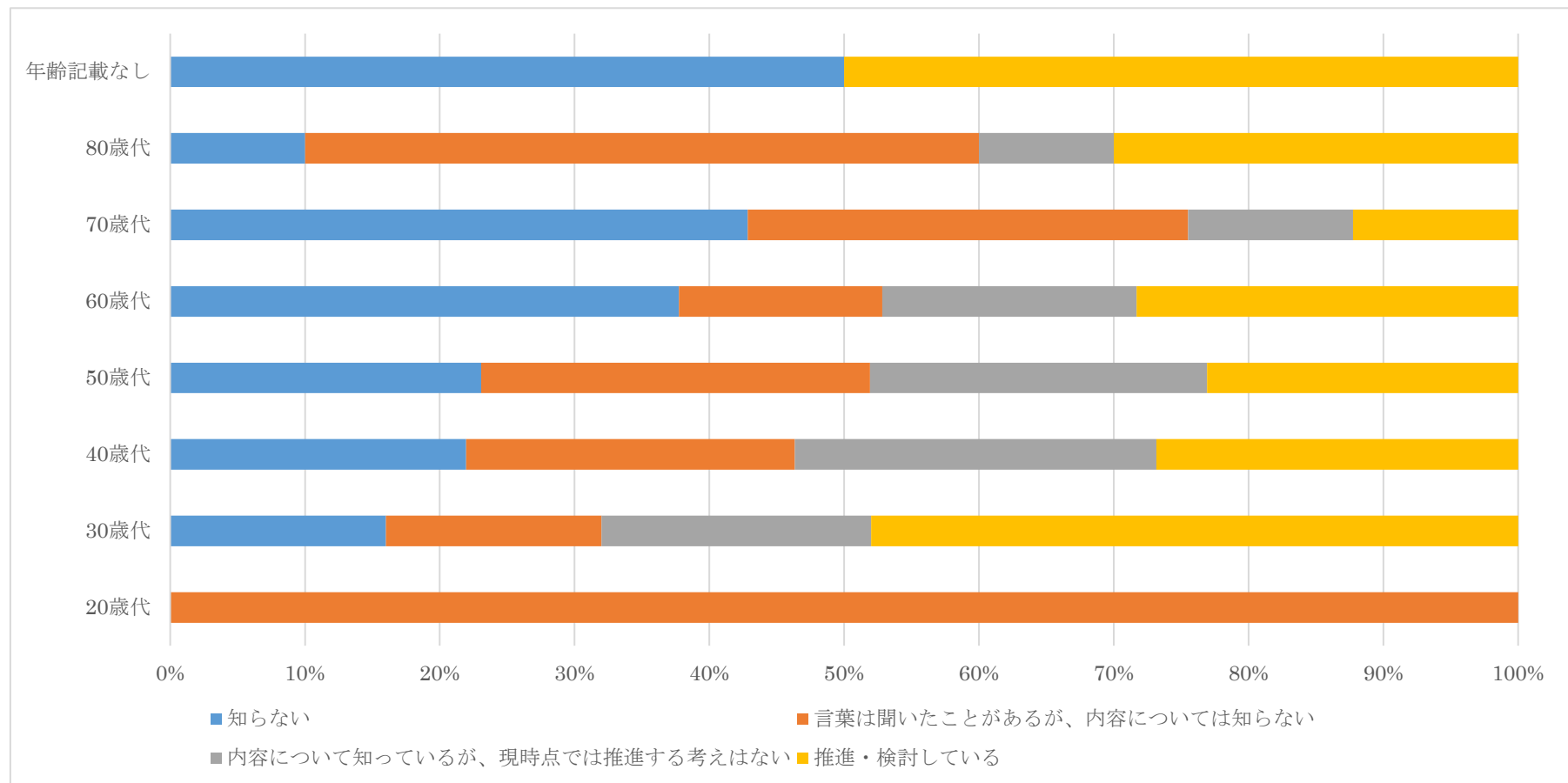
これまでの設問を年代別に分析した。結果として経営者が30代の層でSDGsへの積極的関与が顕在化している。

これは小学生、中学生の子供たちが学校でSDGsに関する勉強に取り組んでおり、その親としてSDGsに関する情報が子供経由で入ってきていることに起因すると推察される。この世代の特徴として、「SDGsはボランティア」（問8：推進に活用できる低利融資制度が必要と回答）という認識が強く、SDGsに対して、市民目線でアプローチしており、企業経営者目線でのアプローチが不足していることがあげられる。

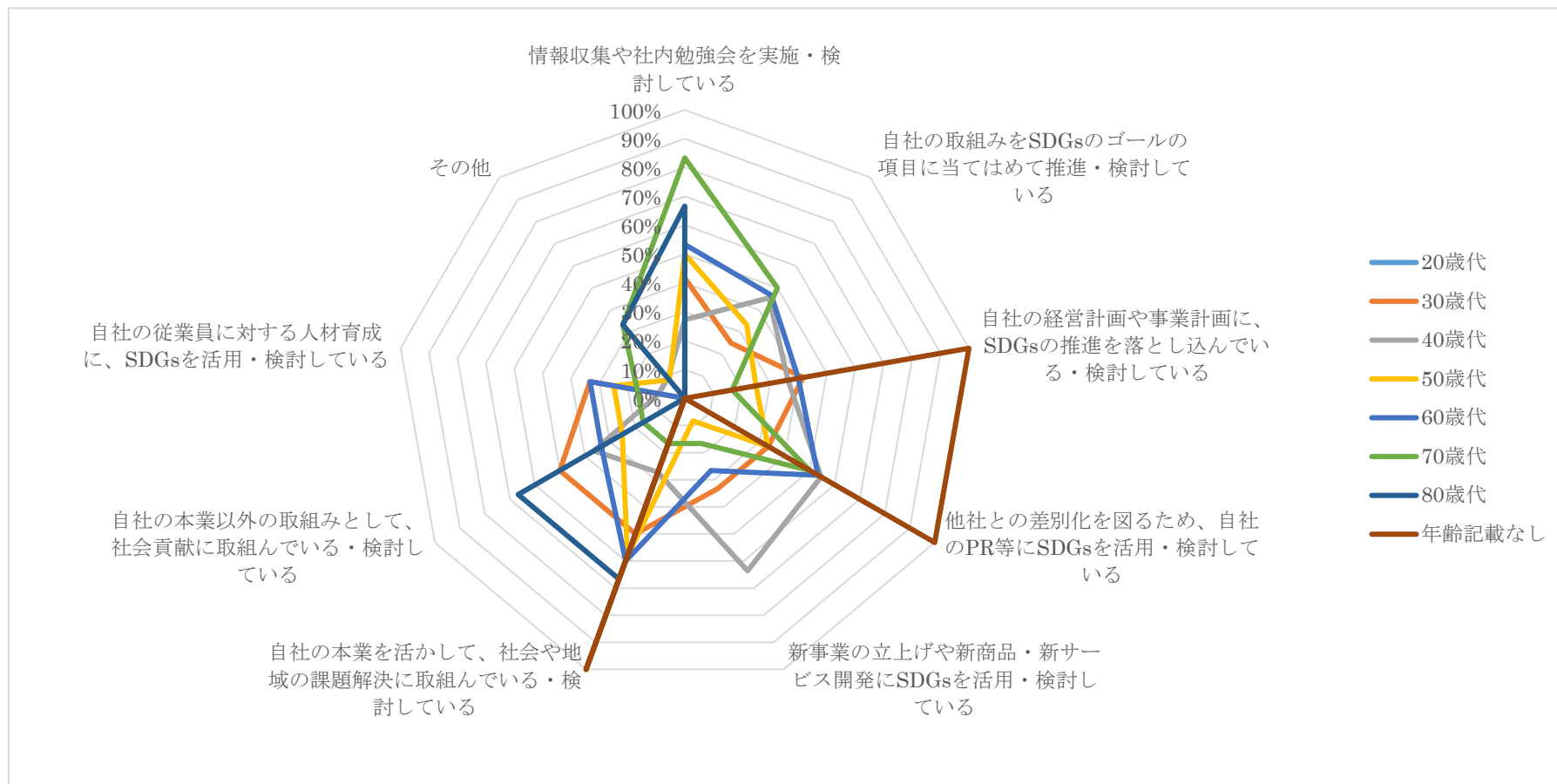
2.2.2. 問2 七尾の未来と会社の将来が心配になることはありますか？



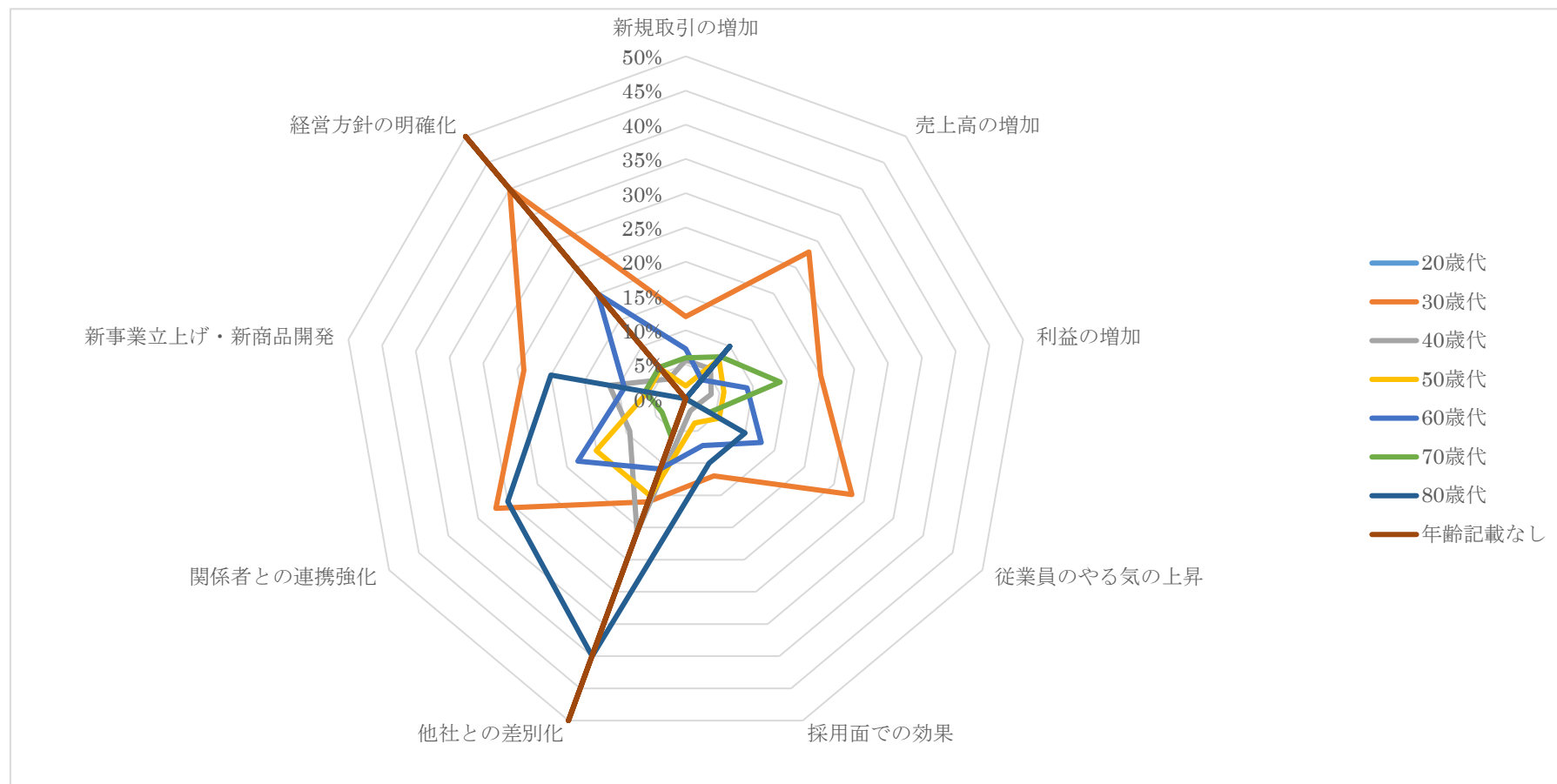
2.2.3. 問3 七尾と会社を元気にできる「SDGs」を知っていますか？



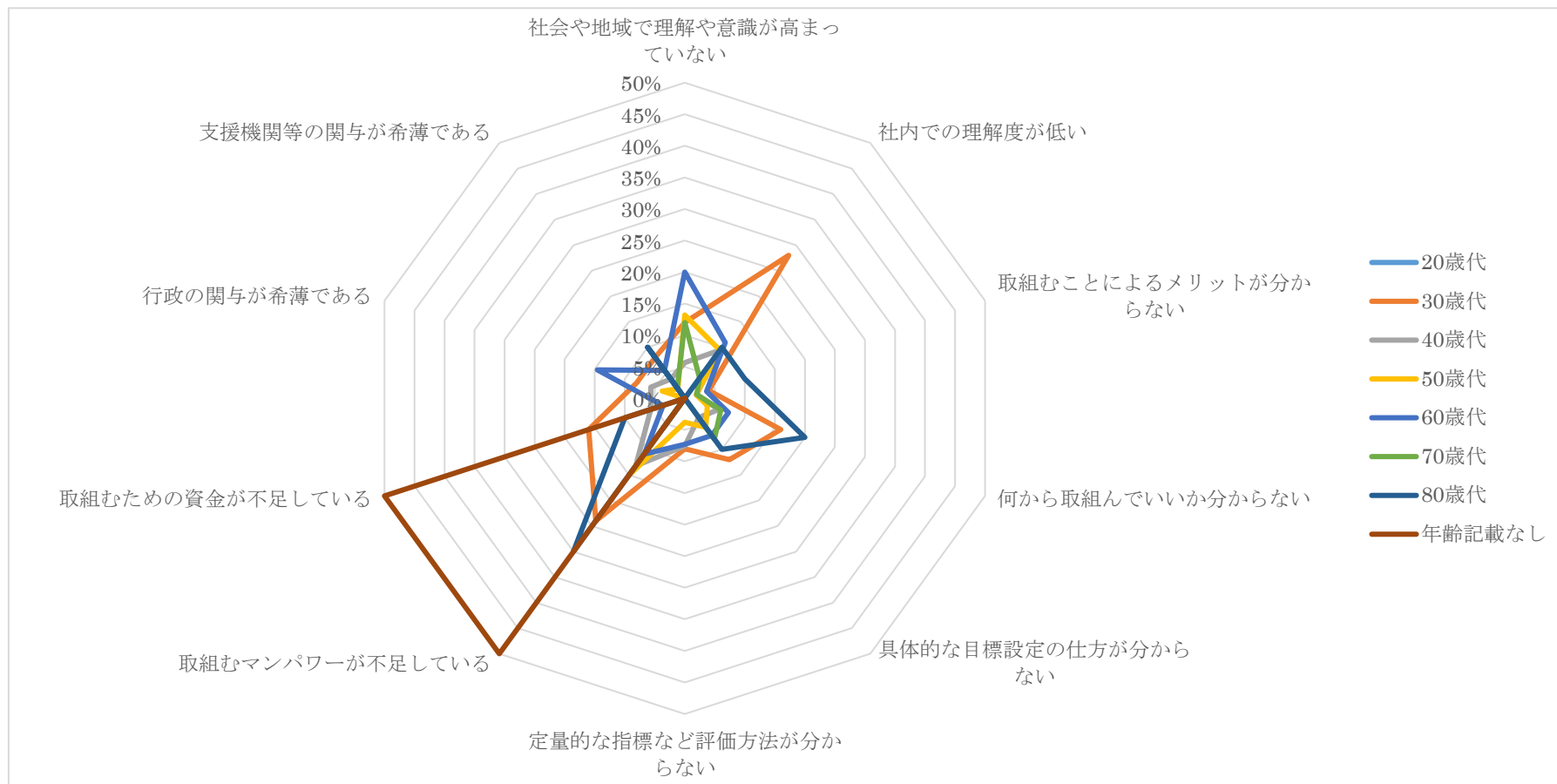
2.2.4. 問4 「SDGs」の具体的な推進内容について、当てはまるものに○を付けてください。【複数回答】



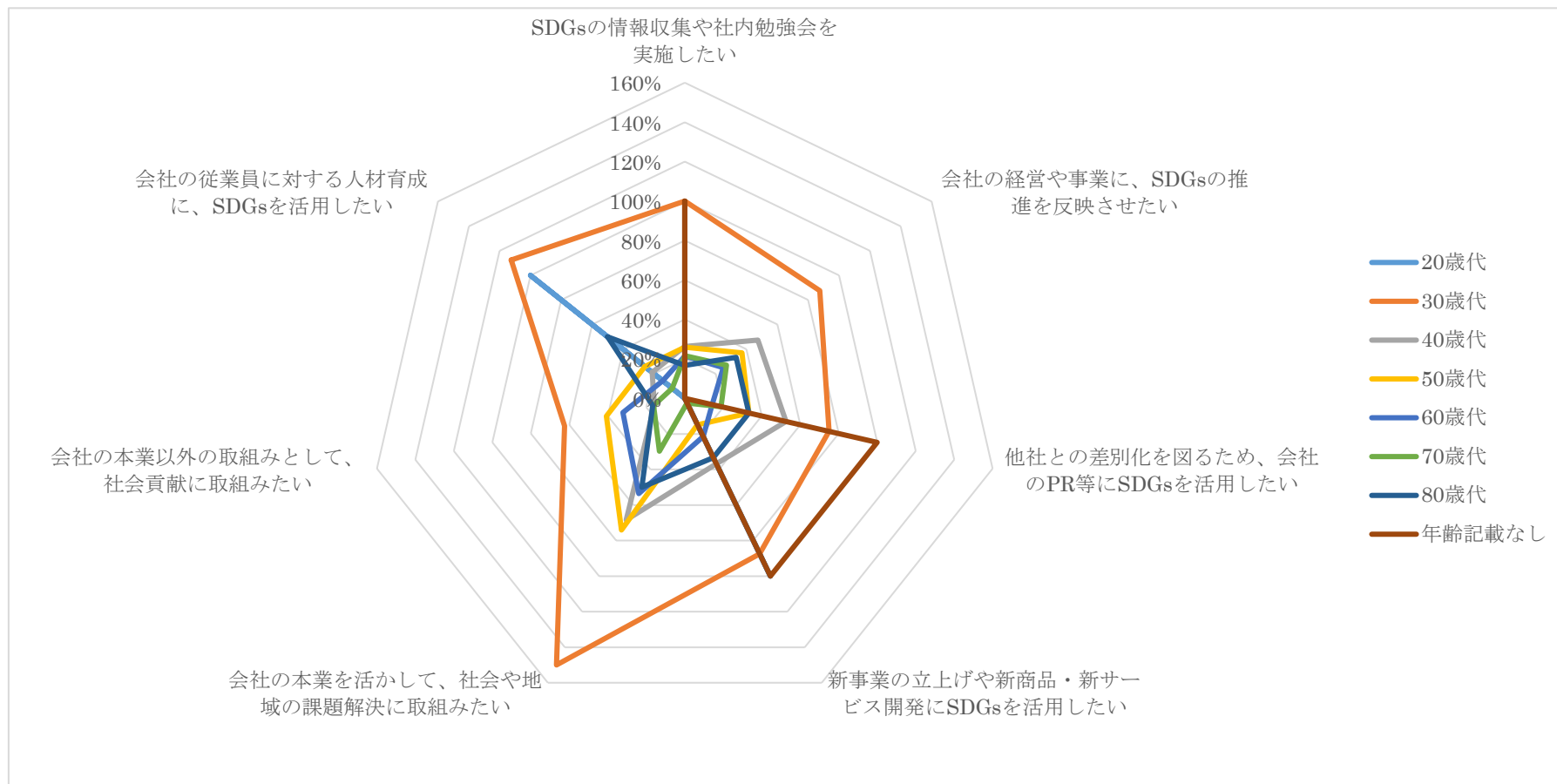
2.2.5. 問5 「SDGs」に取り組む目的として何を期待しますか？ 当てはまるものに○を付けてください。【複数回答】



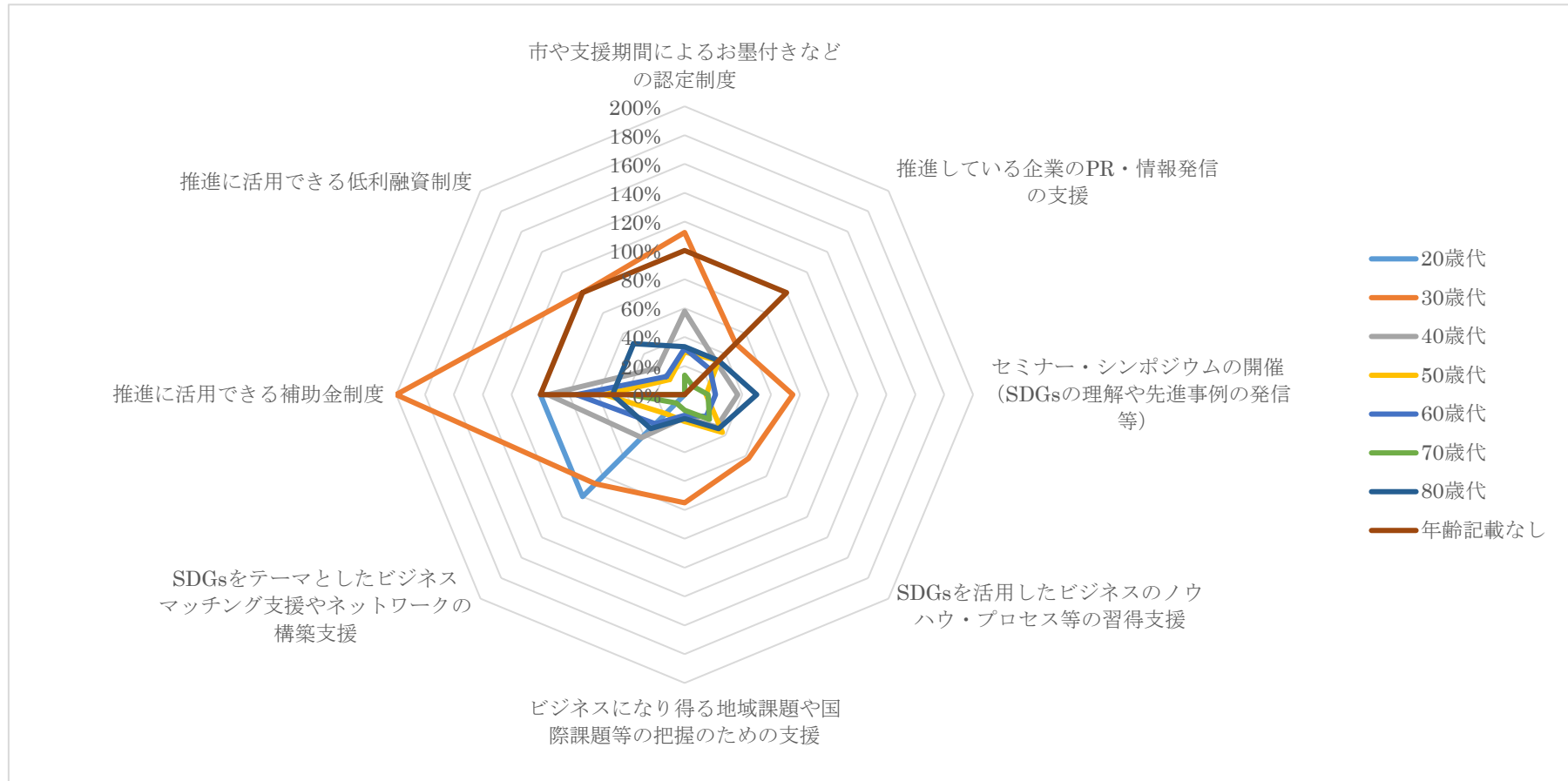
2.2.6. 問6 「SDGs」に取り組む上での課題は何ですか？ 当てはまるものに○を付けてください。【複数回答】



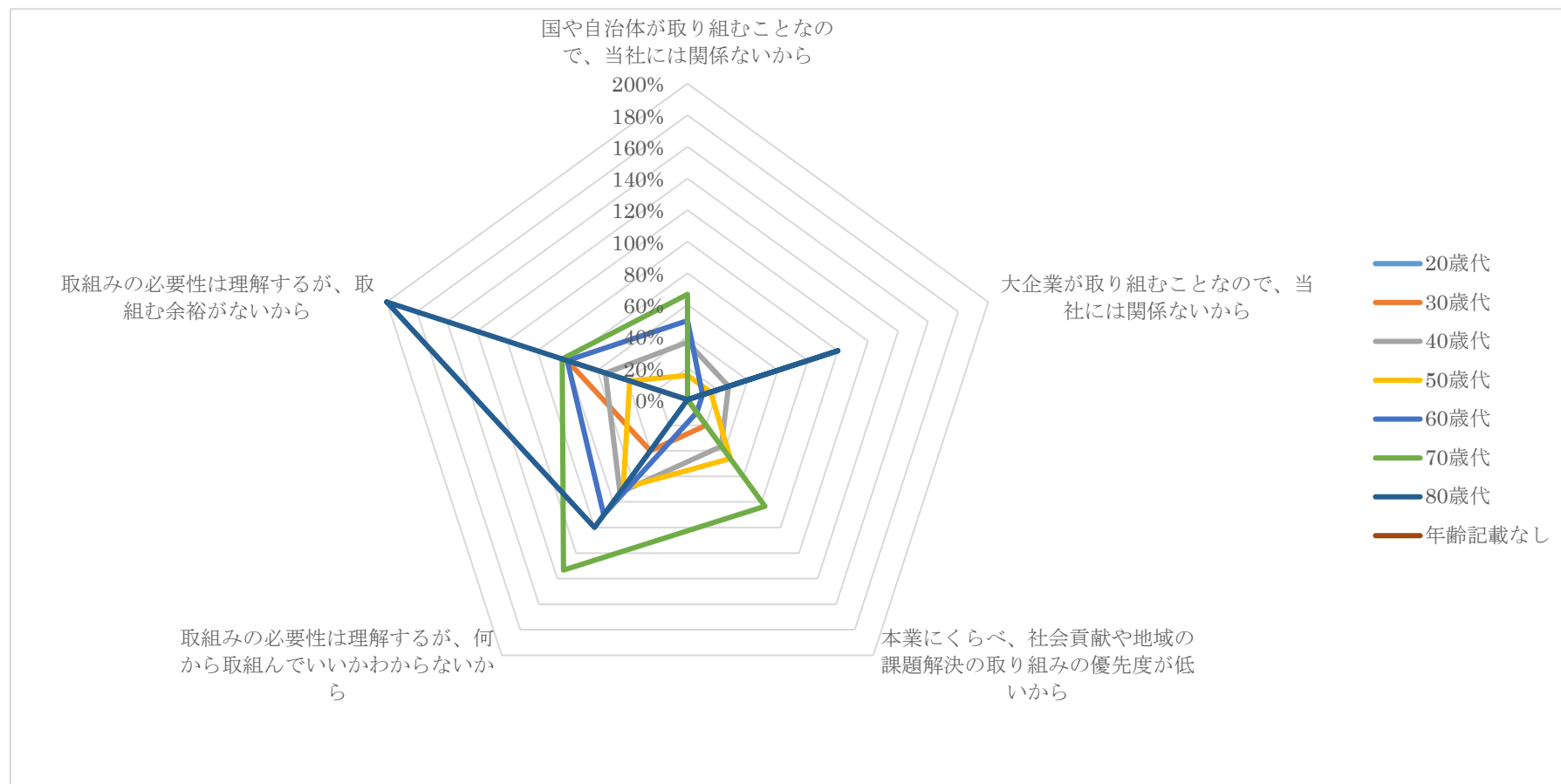
2.2.7. 問7 会社で取組んでみたいことは何ですか？ 当てはまるものに○を付けてください。【複数回答】



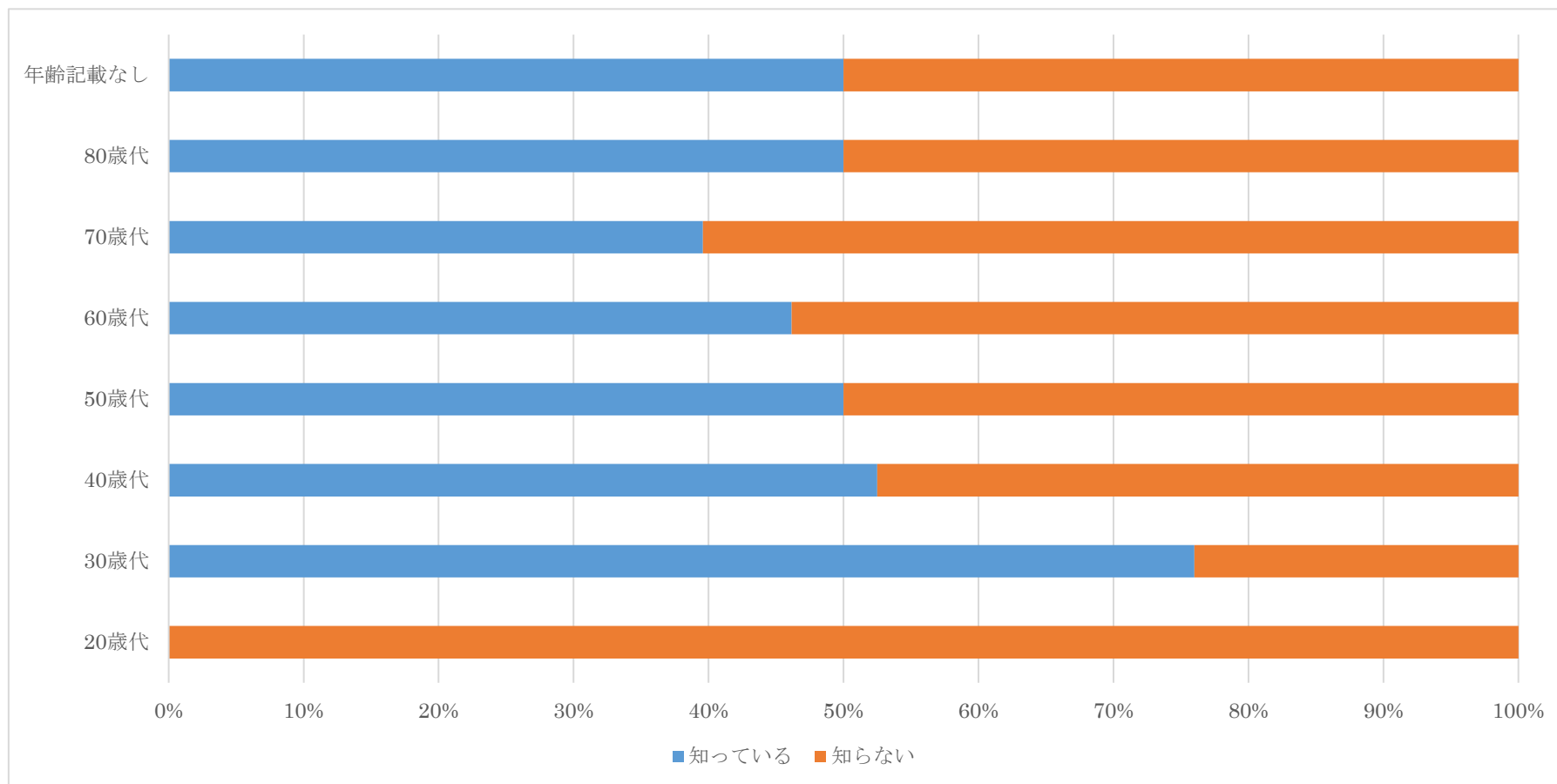
2.2.8. 問8 推進の時にあって欲しい支援策はなんですか？ 当てはまるものに○を付けてください。【複数回答】



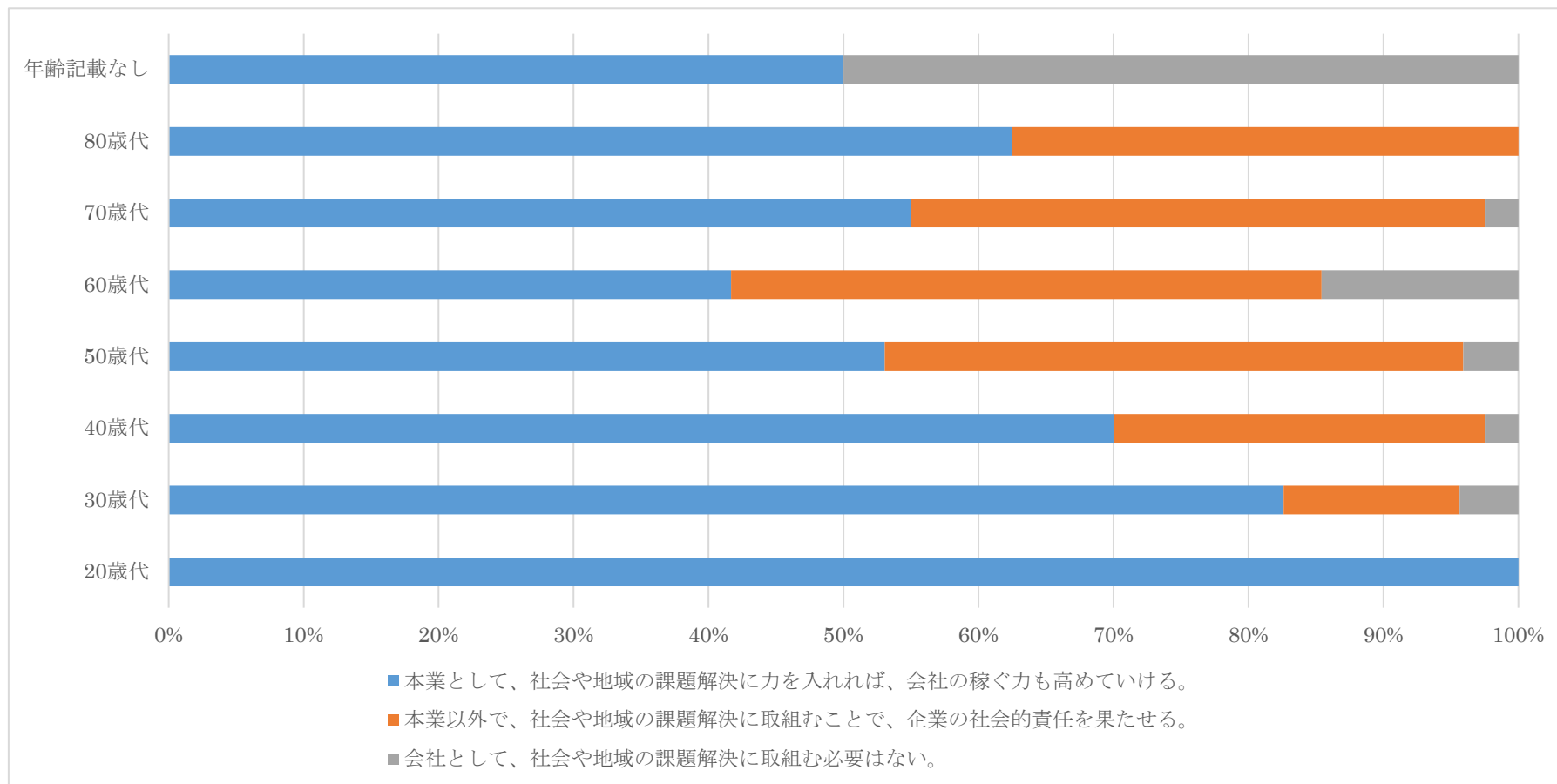
2.2.9. 問9 「SDGs」を推進する考えはない理由について、当てはまるものに○を付けてください。【複数回答】



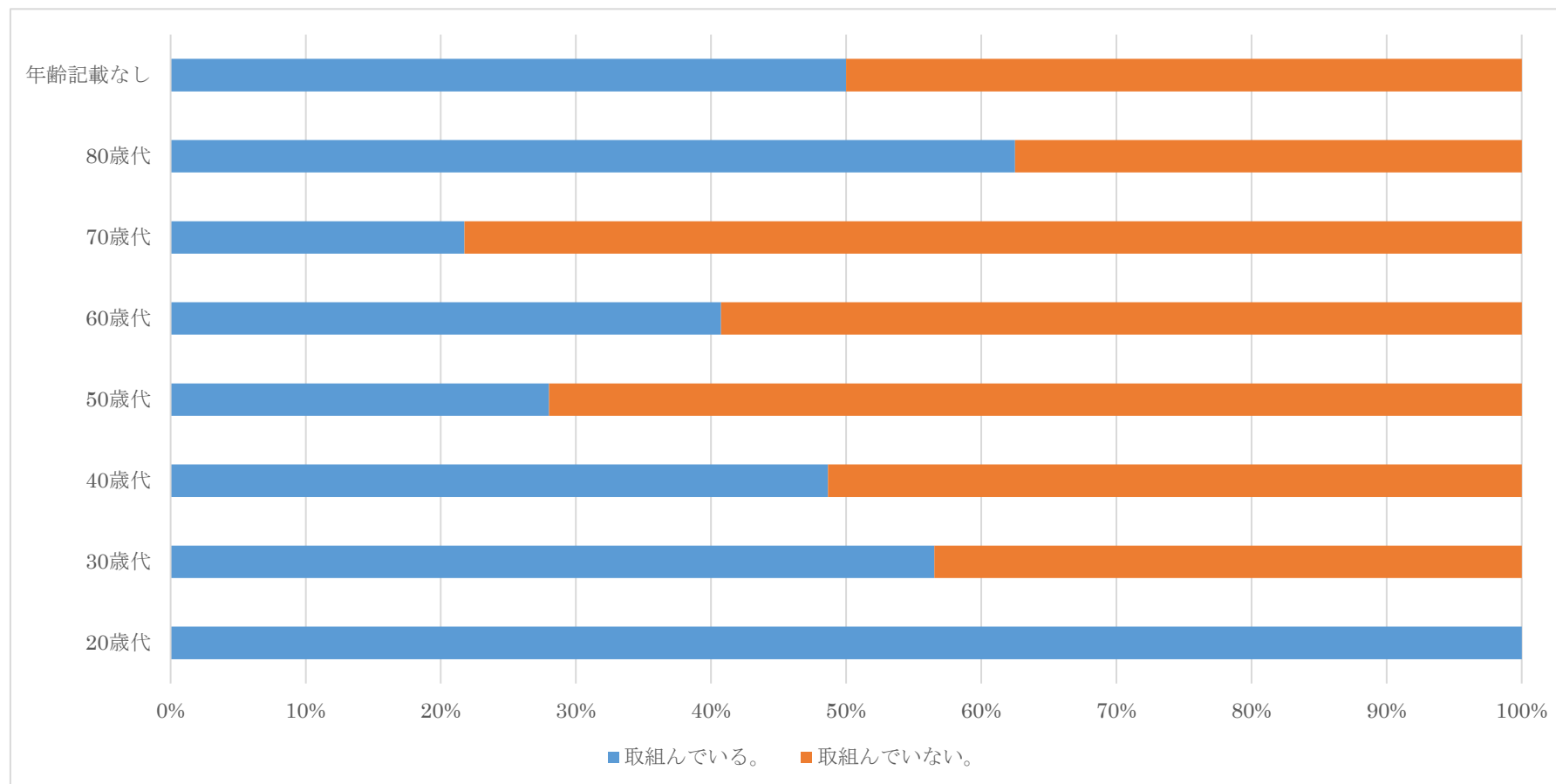
2.2.10. 問 1 0 地域の課題を解決しようとする取組みは、「SDGs」の推進につながることを知っていますか？ 当てはまるものに○を付けてください。



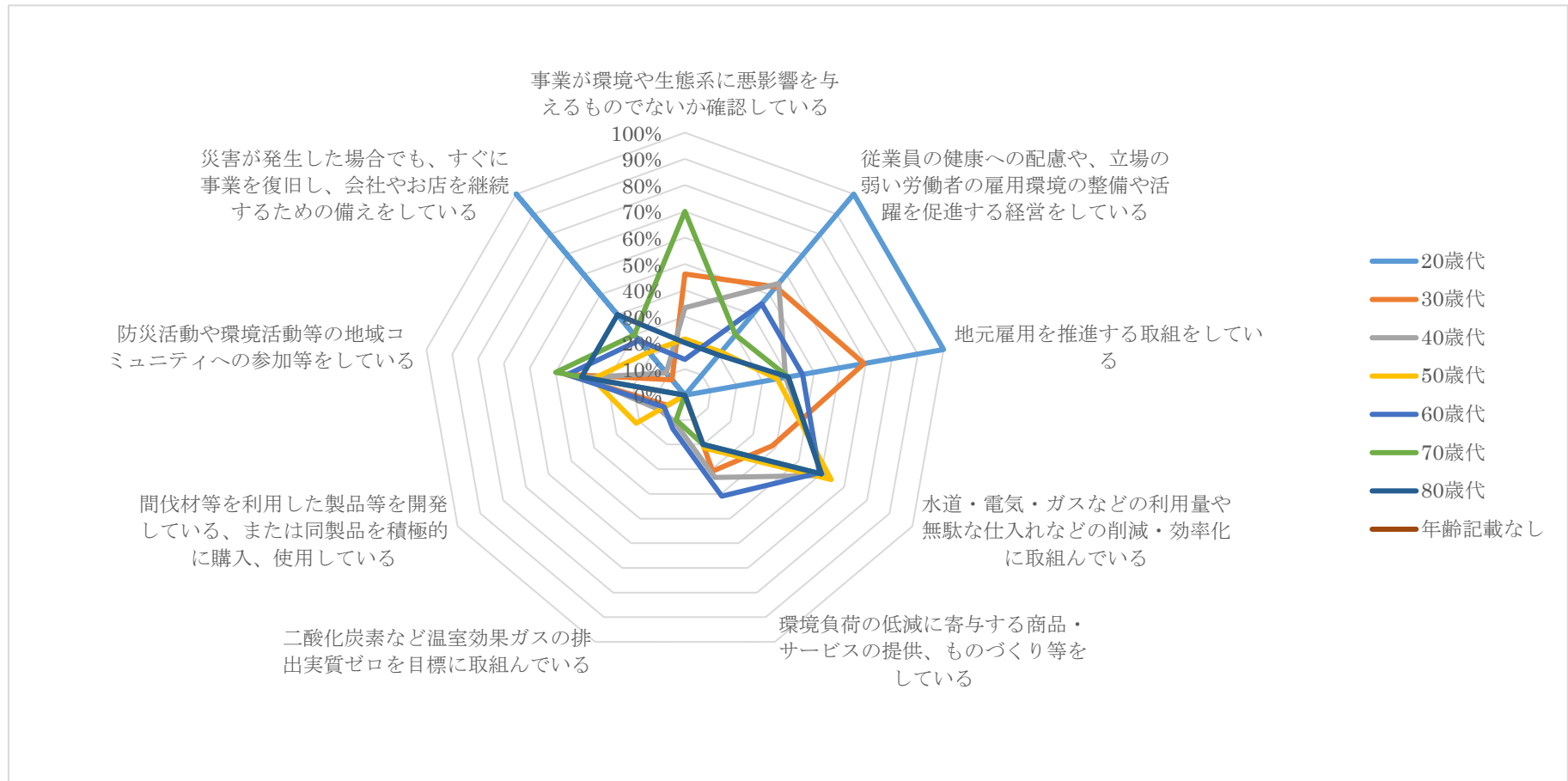
2.2.11. 問 1 1 社会や地域の課題に対する考え方を教えてください。 当てはまるものに○を付けてください。



2.2.12. 問 1 2 会社で社会や地域の課題解決に取り組んでいますか？ 当てはまるものに○を付けてください。



2.2.13. 問 1 3 取組んでいる社会や地域の課題解決内容について、当てはまるものに○を付けてください。【複数回答】



2.2.14. 問 1 4 社会や地域の課題解決に取り組む理由について、当てはまるものに○を付けてください。【複数回答】

